ONKYO®

FR-SX7DV

FR-X7DV（DVD/MD チューナーアンプ）
D-SX7A（スピーカーシステム）

FR-X7DV

（DVD/MD チューナーアンプ）

取扱説明書

MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

基本編

応用編

主な特長

DVD部

■ DVDビデオ、音楽CD/CD-R/CD-RW、ビデオCD、MP3 CD、WMA*、JPEG対応
■ 高画質映像を再現するD2/D1映像出力端子装備
■ より滑らかな映像を再現するプログレッシブスキャン方式対応
■ 最大32ステップまで記憶するプログラム再生
■ 停止後に続き再生できるリジューム機能、前に見たディスクの続きを再生するラストメモリー機能

MD部

■ 長時間録音モード（2倍/4倍）MDLP対応
■ たくさん入った曲を整理するMDグループ機能
■ MDネーム入力をさらに快適にするカンタンネーム
■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link（Digital Rec Level Adjustment）機能
■ デジタル録音ボリューム搭載
■ サンプリングレートコンバーター搭載
■ 高速演算ATRAC搭載

アンプ部

■ ドルビー**プロロジックII、ドルビーデジタル、DTS***、AAC****デコーダー内蔵
■ シアターディメンショナル*****搭載
■ 重低音の調整ができるS.BASS機能
■ 別売りシステムUWA-7と組み合わせて5.1ch再生可能
■ UWA-7と組み合わせてオンキヨー独自の5つのリスニングモード
■ 広帯域な次世代メディアのポテンシャルも引き出すWRAT（Wide Range Amplifier Technology）
■ FMオートプリセット可能。30局メモリー搭載チューナー
■ 再生も録音も複数設定可能なプログラムタイマー
■ 光デジタル入出力端子（入力×1、出力×1）

* Designed for Windows Media™ Windows Media、Windowsのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
“Dolby”、“ドルビー”、“Pro Logic”およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

*** 本機は、デジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
“DTS”、“DTS Digital Surround”は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

**** AAC パテントマーキング
Pat.5,848,391 5,291,557 5,451,954 5 400 433 5,222,189 5,357,594 5 752 225
5,394,473 5,583,962 5,274,740 5,633,981 5 297 236 4,914,701 5,235,671
07/640,550 5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874 98/03036
5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478 08/211,547
5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574 5,717,821

***** Theater-Dimensionalはオンキヨー株式会社の商標です。
RI EXとは、オンキヨー株式会社の商標です。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
  次の点に気をつけてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● スピーカー内部、本機の通風孔、ミニディスクの挿入口やDVDトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

- 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、チューナーアンプの電源を切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ

- スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- お子さまがミニディスク挿入口やDVDトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス+とマイナス−の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

オーディオ機器の正しい使いかた

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

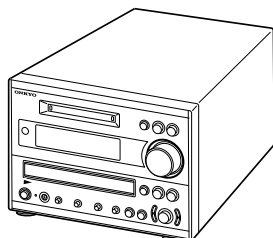
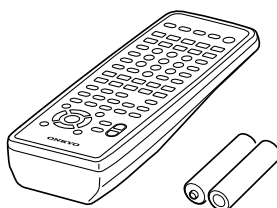
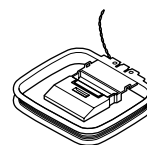
- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。

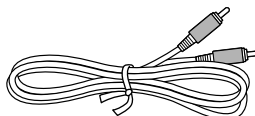
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

付属品を確認する

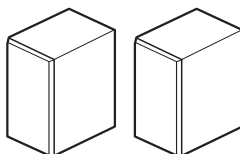
「FR-X7DV」はDVD/MDチューナーアンプの単品、「FR-SX7DV」はFR-X7DVとD-SX7Aで構成されています。
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。(　)内の数字は数量を表しています。

●DVD/MDチューナーアンプ（FR-X7DV）(1)

●リモコン（RC-541S）(1)
●乾電池（単3形）(2)

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●ビデオコード1.5m（1）
映像を送るコードです。

●取扱説明書（1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

スピーカーに同梱の付属品（FR-SX7DVにのみ付属）

●スピーカー（D-SX7A）(2)

●スピーカーコード（左右フロント用）1.8m（2）
スピーカーを接続するコードです。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

リモコンを準備する

乾電池を入れる

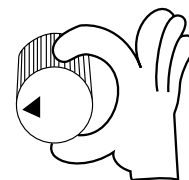
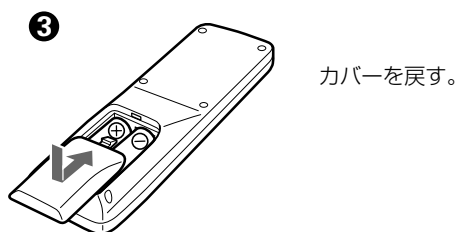
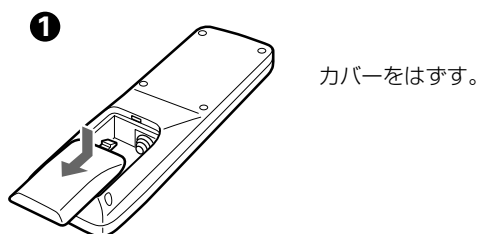
❶

カバーをはずす。

❷

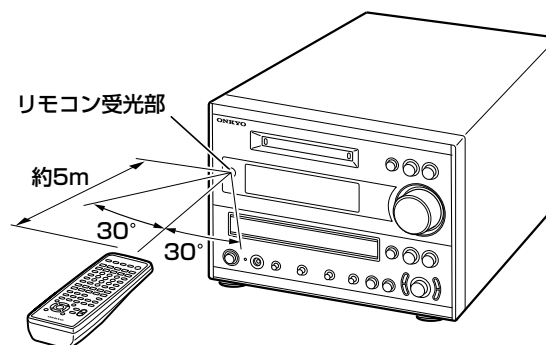
中の極性表示にしたがって、付属の電池２個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる。

❸

カバーを戻す。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名称と主な働き

前面パネル

マスター　ボリューム
MASTER VOLUMEつまみ
音量を調整します。基本的にMin・1・2…78・79・Maxまで調整できます。

イジェクト
MD▲ボタン
MDを取り出します。

ストップ
MD■ボタン
再生、録音を停止します。

プレイ ポーズ
MD▶/❚❚ボタン
再生や録音を始めます。
再生や録音中に押すと一時停止状態になります。

オープン/クローズ
DVD/CD▲ボタン
DVDやCDを取り出します。

ストップ
DVD/CD■ボタン
再生を停止します。

プレイ ポーズ
DVD/CD▶/❚❚ボタン
再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

MD挿入口
MDを挿入します。

リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

表示部
次ページ参照

DVDトレイ
DVDやCDをセットします。

スタンバイ　オン
STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

スタンバイ
STANDBYインジケーター
スタンバイ時に点灯します。

フォーンズ
PHONES端子
ヘッドホンのプラグを接続する端子です。

サラウンド
SURROUNDボタン
リスニングモードを切り換えます。

ダビング
CD DUBBINGボタン
CDダビングを開始するときに押します。

レック
MD●RECボタン
MDを録音待機状態にします。

レック　モード
REC MODEボタン
録音モード（MDLP）を切り換えます。

インプット　カーソル
◀INPUT▶/CURSORボタン
聞くソースを選びます。文字入力時や設定時、カーソルを移動させます。

イエス　モード
YES/MODEボタン
録音、再生、設定などで、選択した項目を決定します。

エディット　ノー　クリア
EDIT/NO/CLEARボタン
設定や編集操作の内容を選びます。
設定時は、表示された内容を取り消します。

マルチ　ジョグ
MULTI JOGダイヤル
ラジオのプリセット局や、再生する場面や曲を選びます。編集の種類を選んだり、文字を入力するときに文字を選びます。押すと録音、再生、設定などで選択した項目を決定します。

グループ
GROUPボタン
グループを選択するときに使用します。

ディスプレイ
DISPLAYボタン
表示内容を切り換えます。文字入力時、文字の種類を選びます。

表示部

再生モード表示
MEMORY：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RANDOM：ランダム再生時に点灯します。
1GR：1グループ再生時に点灯します。
REPEAT1：1曲リピート、リピート再生時に点灯します。
GROUP：グループ再生時に点灯します。
FM受信情報
FM/AM受信時の情報を知らせます。
入力信号表示/リスニングモード表示
入力されている信号の種類および選ばれているリスニングモードを表示します。
MUTING表示
ミューティングが働いているときに点滅します。
アングル表示
DVDのアングルが収録されている場面を再生すると点灯します。
LEVEL-SYNC表示
レベルシンクが働いているときに点灯します。
DVD再生表示
DVDやCDの再生状態を表示します。
DUB表示
CDダビング時に点灯します。
MDLP表示
MDLPの録音状態を表示します。
MD再生、録音表示
MDの再生、録音状態を表示します。
TOC表示
DVD/MD情報
DVDやMDの情報を表示します。
多目的表示部
再生時間や、リスニングモードなどを表示します。
PROGRESSIVE表示
プログレッシブ出力時に点灯します。
LAST.M表示
ラストメモリー機能が働いているときに点灯します。
S.BASS表示
スーパーバス設定時に点灯します。
CHP/TRACK表示
チャプター/トラック数が表示されているときに点灯します。
MD表示
CDをMDに録音中で、入力がMDのときに点灯します。
TITLE表示
ディスクのタイトル数が表示されているときに点灯します。
レベル表示
音声レベルを表示します。
DIGITAL表示
録音の設定がデジタル入力録音時に点灯します。
SLEEP表示
スリープタイマーが働いているときに点灯します。
TIMER表示
タイマーのセット状態を表示します。
ディスク情報
再生しているディスクの種類を表示します。
MP3/WMA/JPEG表示
MP3、WMA、JPEG方式で収録されているディスク再生時にファイルの種類を表示します。

各部の名称と主な働き

後面パネル

AMアンテナ端子
付属のAM室内アンテナまたは、AM屋外アンテナを接続する端子です。

FMアンテナ端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

LINE/TV端子
テレビやイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなど外部機器の音声出力を接続する端子です。

TAPE/CDR端子
テープデッキやCDレコーダーを接続する端子です。

PRE OUT端子
別売のオンキヨー製UWA-7のMAIN IN端子と接続します。

SUBWOOFER CONTROL端子
別売のオンキヨー製UWA-7のSUBWOOFER CONTROL端子と接続します。

RI 端子
RI 端子付きのオンキヨー製カセットデッキなどと接続し、連動させるための端子です。RI ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

電源コード

FRONT SPEAKERS端子
フロントスピーカーを接続する端子です。(FR-SX7DVの場合は、付属のD-SX7Aを接続します。)

VIDEO端子
映像が出力される端子です。テレビなどと接続するときに、付属のビデオコードを使って接続します。

S VIDEO端子
映像が出力される端子です。Sビデオ端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のSビデオコードを使って接続します。

D2/D1 VIDEO端子
映像が出力される端子です。D入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のD端子用接続コードを使って接続します。

DIGITAL OUT(OPTICAL)端子
光デジタル出力端子です。デジタル入力端子付きのCDレコーダーなどと接続するときに、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

DIGITAL IN(OPTICAL)端子
光デジタル入力端子です。デジタル出力端子付きのゲーム機やBSチューナーなどと接続するときに、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

リモコン（RC-541S）

CLOCKボタン
現在時刻を表示します。
INPUT ◄/► ボタン
開くソースを選びます。
PRESET ◄◄/►►ボタン
MDやオンキヨー製外部機器の前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。ラジオのプリセット選局にも使用します。
TUNING ◄◄/►► ボタン
MDやオンキヨー製外部機器の再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。文字入力時、カーソル移動やラジオの周波数の選択にも使用します。
GROUP/SEARCH/TUN MODEボタン
MDのグループを選択するときに使用します。FM放送受信時、受信モードを切り換えます。
MEMORYボタン
好きな曲/場面順に再生するように記憶させます。
RANDOMボタン
順不同に再生します。
REPEATボタン
くり返し再生します。
数字/記号ボタン
MDやCDなどの選曲やDVDなどの場面、項目などを選びます。MDやラジオのプリセット局に文字を入れるときにも使用します。
DIMMERボタン
表示部の明るさを切り換えます。
TIMERボタン
時刻合わせやタイマーを設定します。
RCV SETUPボタン
本機の設定を行います。
SLEEPボタン
スリープタイマーを設定します。
STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。
別売りのオンキヨー製TAPE/CDR操作ボタン
◄/❚❚：再生を一時停止します。テープの場合は裏面を再生します。
■：再生を停止します。
►：再生を始めます。
MD操作ボタン
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
►：再生を始めます。
NAMEボタン
文字入力をするときに使用します。
DISPLAYボタン
表示内容を切り換えます。文字入力時、文字の種類を選びます。
SCROLLボタン
表示された文字を移動表示します。文字入力時、文字の種類を選びます。
ENTERボタン
録音、再生、設定などで、選択した項目を決定します。リモコン左下部のENTERボタンと同じです。使いやすい方をご使用ください。
CLEARボタン
決定した内容を取り消します。
VOLUME+/−ボタン
音量を調整します。
MUTINGボタン
音を一時的に小さくします。
S.BASSボタン
重低音を切り換えます。

各部の名称と主な働き

リモコン（RC-541S）

❚❚ ボタン
DVDやCDの再生を一時停止します。

⏮ / ⏭ ボタン
DVDの場面やCDの曲を頭出しします。

GROUP/SEARCH/TUN MODEボタン
DVDやCDの再生したい場所を選択します。

STEP/SLOW＋/ーボタン
DVDをコマ送り、スロー再生します。

◀◀ / ▶▶ ボタン
DVDやCDを早送り、早戻しします。

AUDIOボタン
音声を切り換えます。

ANGLEボタン
アングルを切り換えます。

PROGRESSIVEボタン
プログレッシブ対応テレビと接続したときに使用します。

LAST Mボタン
ディスクを次に読み込んだときに、再生する場所を記憶させます。

TEST TONEボタン
テスト音を出力します。

TOP MENUボタン
DVDのトップメニュー画面を表示します。

ENTERボタン
選択した内容を決定します。

RETURNボタン
DVDのメニュー画面を1つ前の項目に戻します。

▲ / ▼ / ◀ / ▶ボタン
設定項目を選択します。

■ ボタン
DVDやCDの再生を停止します。

▶ ボタン
DVDやCDの再生を始めます。

A-B REPEATボタン
DVDやCDをA-Bくり返し再生します。

STEREO/T-Dボタン
ステレオサウンドとシアターディメンショナルサラウンドを切り換えます。

SUBTITLEボタン
字幕言語を切り換えます。

ALL CH STボタン
リスニングモードをオールチャンネルステレオに切り換えます。（UWA-7使用時のみ）

LATE NIGHTボタン
小音量で再生するときダイナミックレンジを切り換えます。

SARROUNDボタン
リスニングモードを選択します。

CH SELボタン
設定するスピーカーを選びます。

MENUボタン
DVDのメニュー画面を表示します。

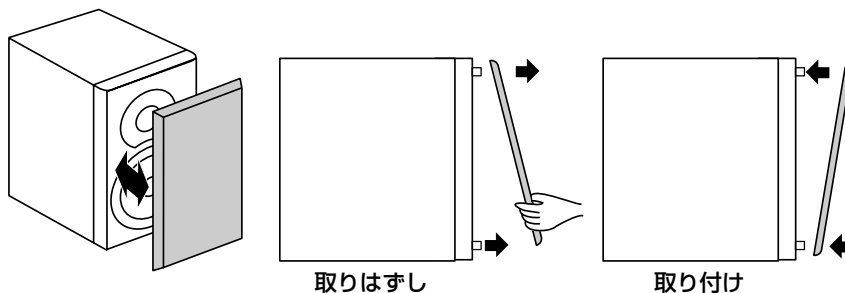
DVD SETUPボタン
DVD設定画面を表示します。

スピーカー（D-SX7A）*FR-SX7DVには、スピーカー「D-SX7A」が付属しています。*

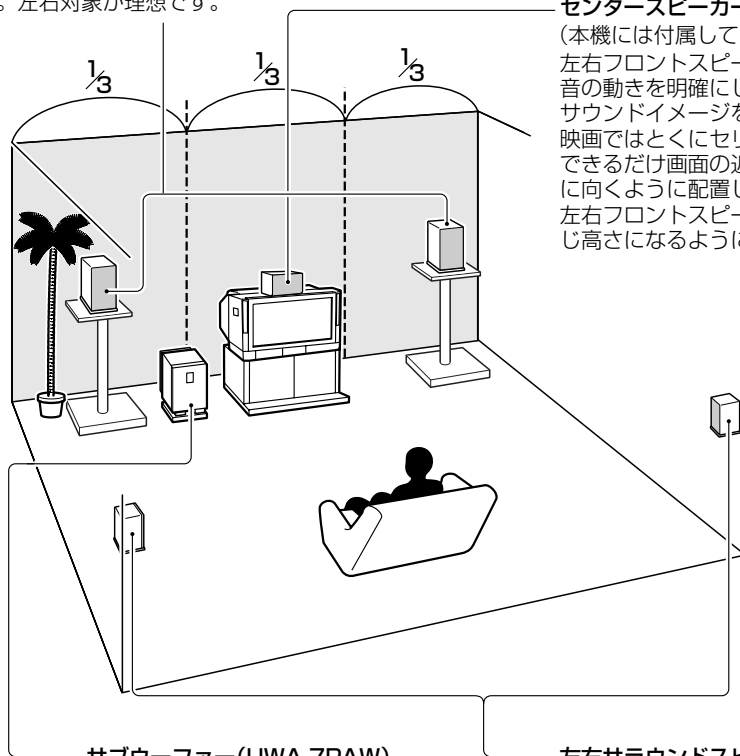
スピーカーは左右対称型となっています。お好みや状況に合わせて設置してください。
一般にツィーター部が外側になるようにセッティングすれば、音場の拡がりが増し、ツィーター部を内側になるようにセッティングすれば、音場が引き締まります。

サランネットの脱着について

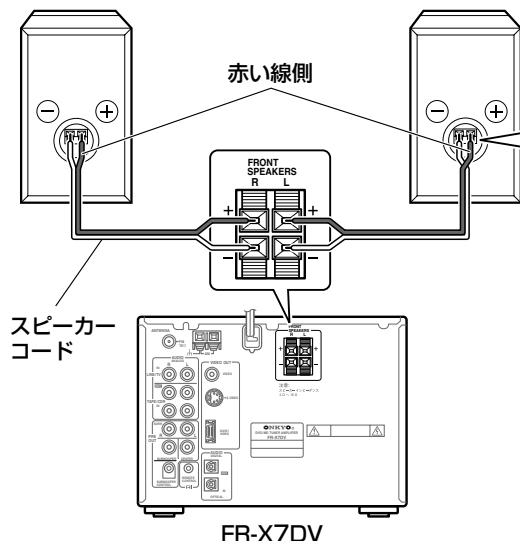
このスピーカーは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

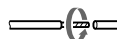
1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるホルダーを本体のサランネット取り付けピンに合わせて押し込みます。

ホームシアターとは

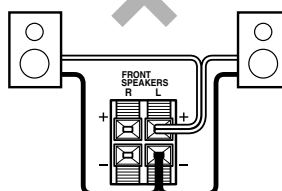
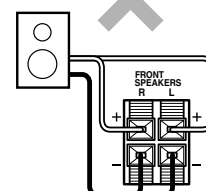
ホームシアターを楽しもう

FR-X7DVは、2本のフロントスピーカーでもシアターディメンショナル機能を使用して、マルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。
別売りのUWA-7（3.1CHスピーカーシステム）を増設して組み合わせると5.1ch再生ができ、より音の立体感、移動感が実現でき、ご家庭で簡単に劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれる音響効果をお楽しみいただけます。
DVDではディスクの記録方法により、 DTSやドルビーデジタル再生、テレビや衛星放送ではオンキヨー独自のDSPサラウンド再生をお楽しみいただけます。

最適なサラウンド再生をお楽しみいただくには、音が届く時間を一定にするため視聴位置からスピーカーの距離を設定する必要があります。また、音のバランスを調整するため、それぞれのスピーカーの音量の設定を行ってください。（☞95ページ）

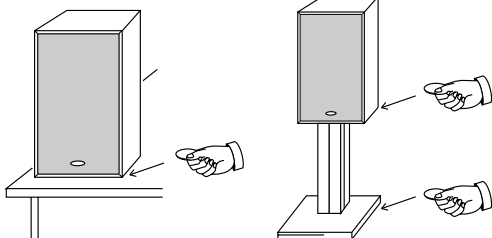
接続する

スピーカーを接続する

1. ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。
2. スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3. スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線を絶対に接触させないでください。

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが4Ω～16Ωのものを接続してください。
- スピーカーの(+)と本体の(+)を、スピーカーの(－)と本体の(－)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線がある方を(+)側に接続してください。
- 片チャンネルのスピ－カ－端子に複数のスピーカーを接続(例1)したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカ－端子に並列して接続(例2)しないでください。故障の原因になります。

スピーカーの設置について

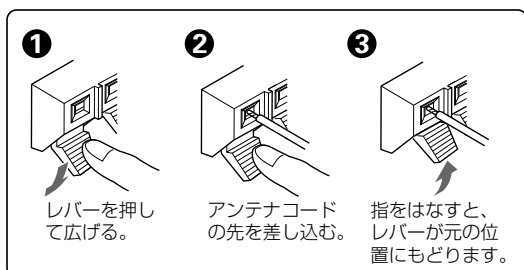
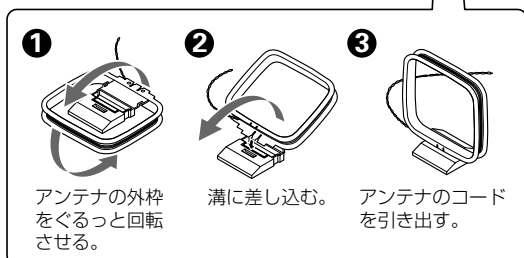
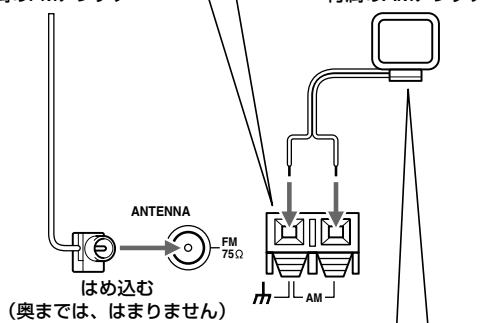
スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- スピーカースタンドと床との間、またはスピーカーとスピーカースタンドとの間にガタツキがあると、質の良い低音が得られませんので、コルク円板またはコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

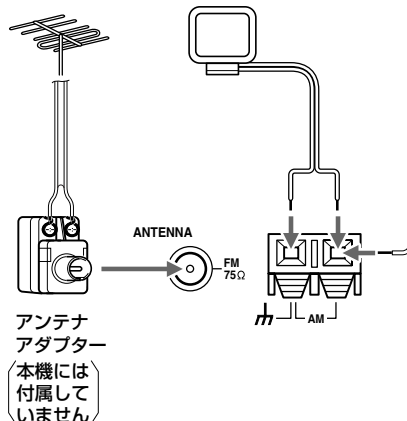
ご注意

- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(☞49ページ)

！ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。(スピーカーコードのように、極性などによる区別は有りません。)

FM/AM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

⚠送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などで付属のAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

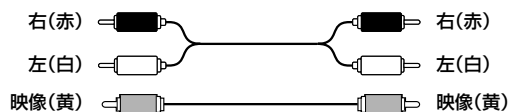
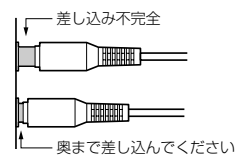
ご注意

AM屋外アンテナを接続するときも、必ず付属のAM室内アンテナを接続しておいてください。

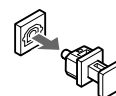
接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

ビデオ用、オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ(Rの表示)を右チャンネル、白いプラグ(Lの表示)を左チャンネル、黄色のプラグ(Vの表示)をビデオチャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

光デジタル入力端子/出力端子について

本機の光デジタル端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。

設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

映像/音声ケーブルと端子の種類について

映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
D端子用接続コード			Sビデオより良い画質が得られます。
Sビデオコード		S VIDEO	コンポジットの映像より良い画質が得られます。
ビデオコード (付属しています)		VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

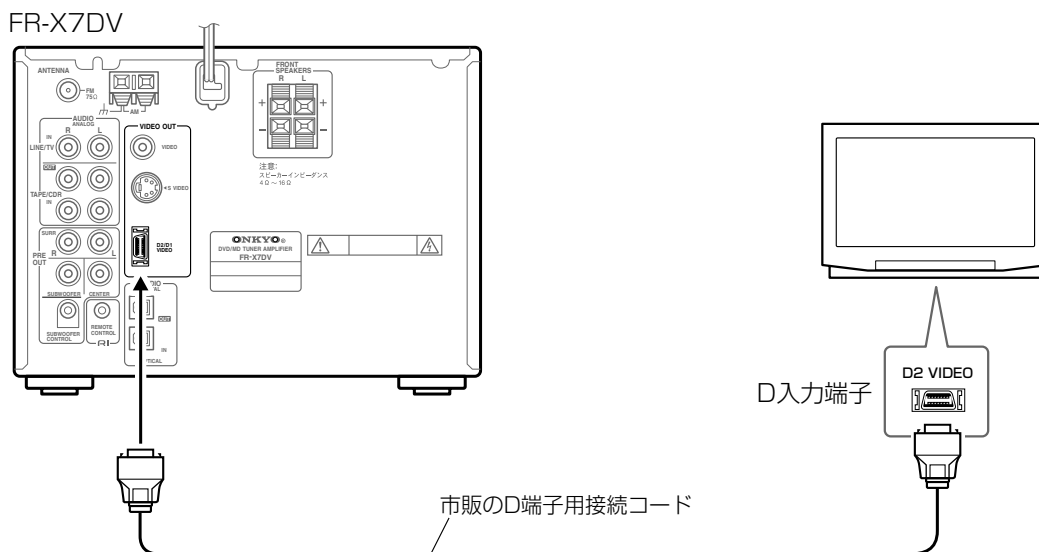
音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル (OPTICAL)		OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル信号を伝送します。
オーディオ用 ピンコード		AUDIO L R	アナログ音声を伝送します。

接続する

テレビを接続する

DVDなどの映像をテレビに映すために、本機とテレビを接続します。接続する端子の種類によって接続方法が異なります。テレビにある端子を確認し、D入力端子、Sビデオ端子、ビデオ端子のいずれかを接続します。

■ テレビにD入力端子がある場合

テレビのD1、2、3、4のいずれかの端子と本機のD2/D1 VIDEO端子を市販のD端子用接続コードで接続します。コンポーネント端子があるときは、市販のD端子－コンポーネント端子変換コードが使用できます。

映像の出力方式を切り換えるには

接続したテレビがプログレッシブ対応テレビのとき、映像の出力方式をリモコンのPROGRESSIVEボタンで切り換えることができます。INPUTボタンで本機の入力をDVDにし、停止中に行ってください。

プログレッシブ：

きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているテレビと接続しているときに選択します。表示部の「PROGRESSIVE」が点灯します。

インターレース（お買い上げ時の設定）：

プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときに選択します。

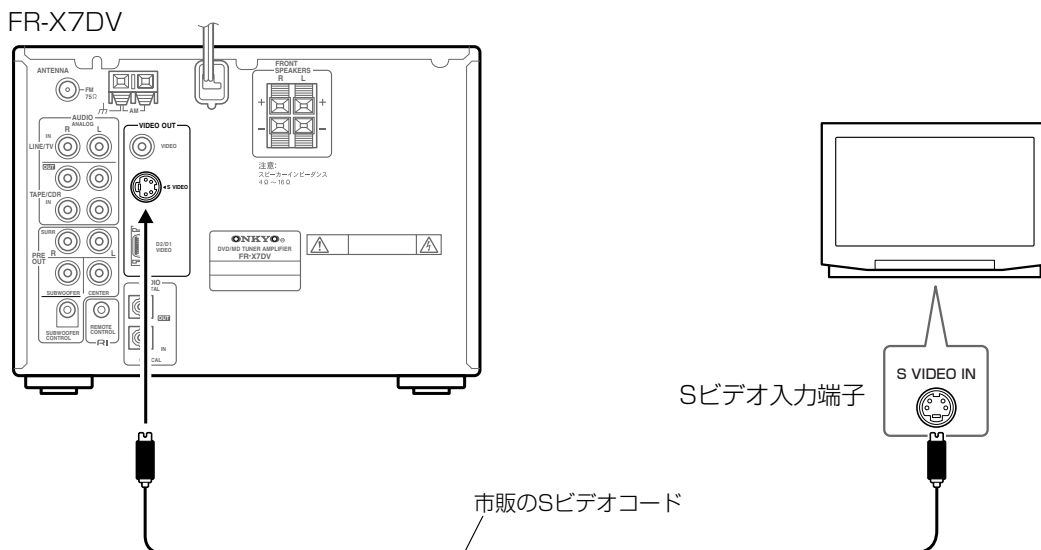
ご注意

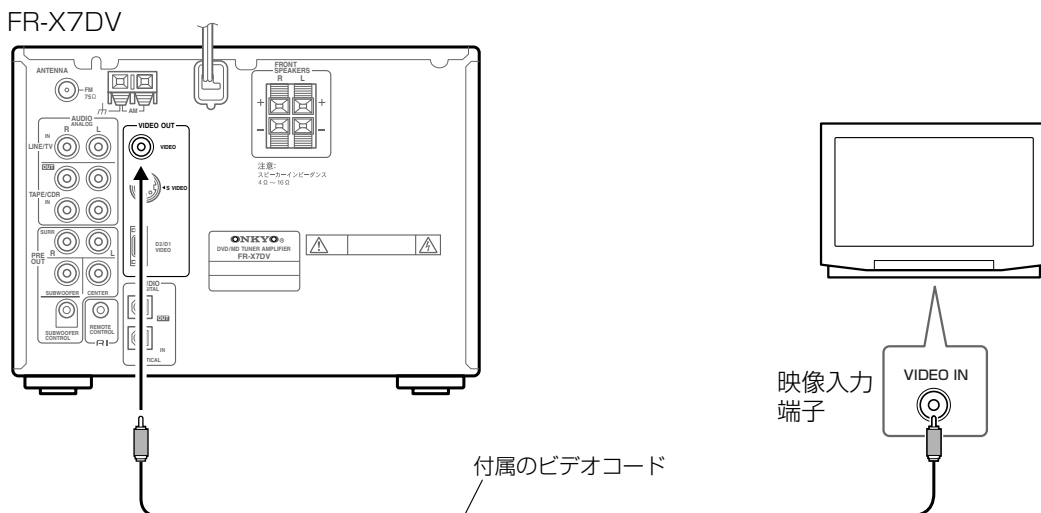
- プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときにプログレッシブを選択すると映像が正しく出力されません。再度リモコンのPROGRESSIVEボタンを押してプログレッシブを解除してください。
- プログレッシブとインターレースを切り換えるとき映像が乱れることがあります。

本機とプログレッシブ対応テレビとの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

■ テレビにSビデオ端子がある場合

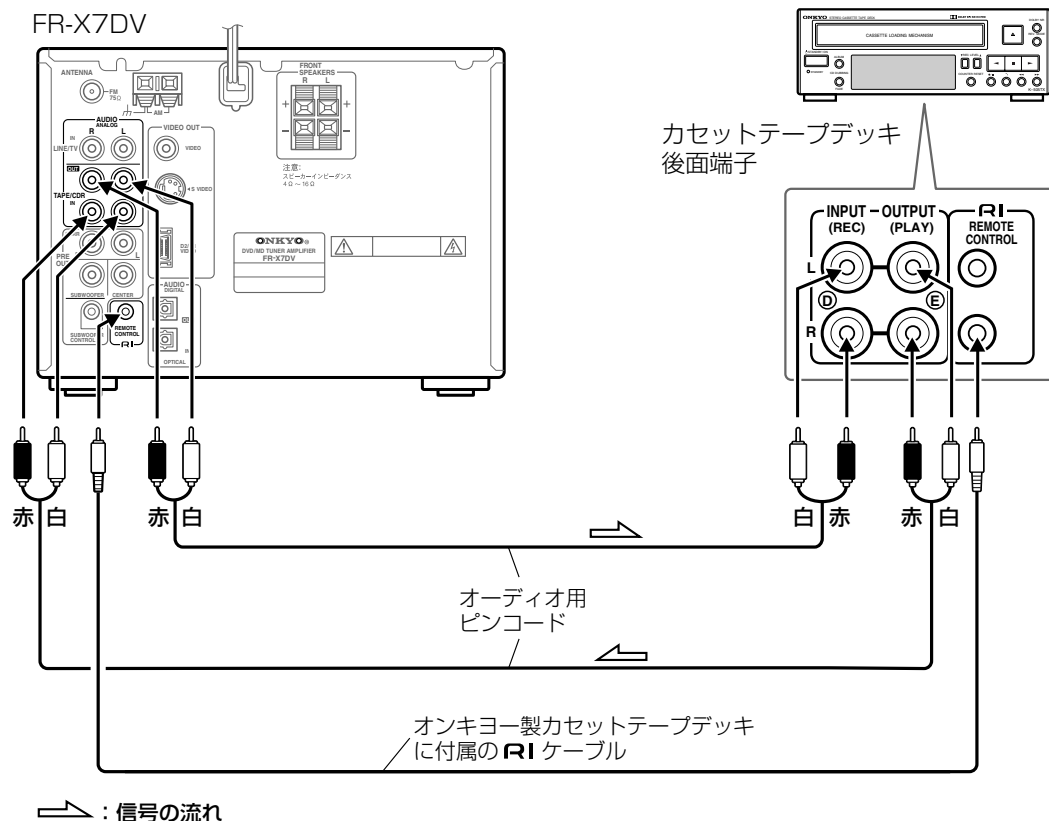
市販のSビデオコードでSビデオ端子と接続をしてください。

■ テレビにD入力端子もSビデオ端子もない場合

付属の黄色のビデオコードでビデオ接続をしてください。

外部機器を接続する

カセットテープデッキを接続する

■ オンキヨー製カセットテープデッキの場合

本機のTAPE/CDR OUT端子とカセットテープデッキのINPUT端子Ⓓを接続してください。
本機のTAPE/CDR IN端子とカセットテープデッキのOUTPUT端子Ⓔを接続してください。

：信号の流れ

■ その他のカセットテープデッキと接続する場合

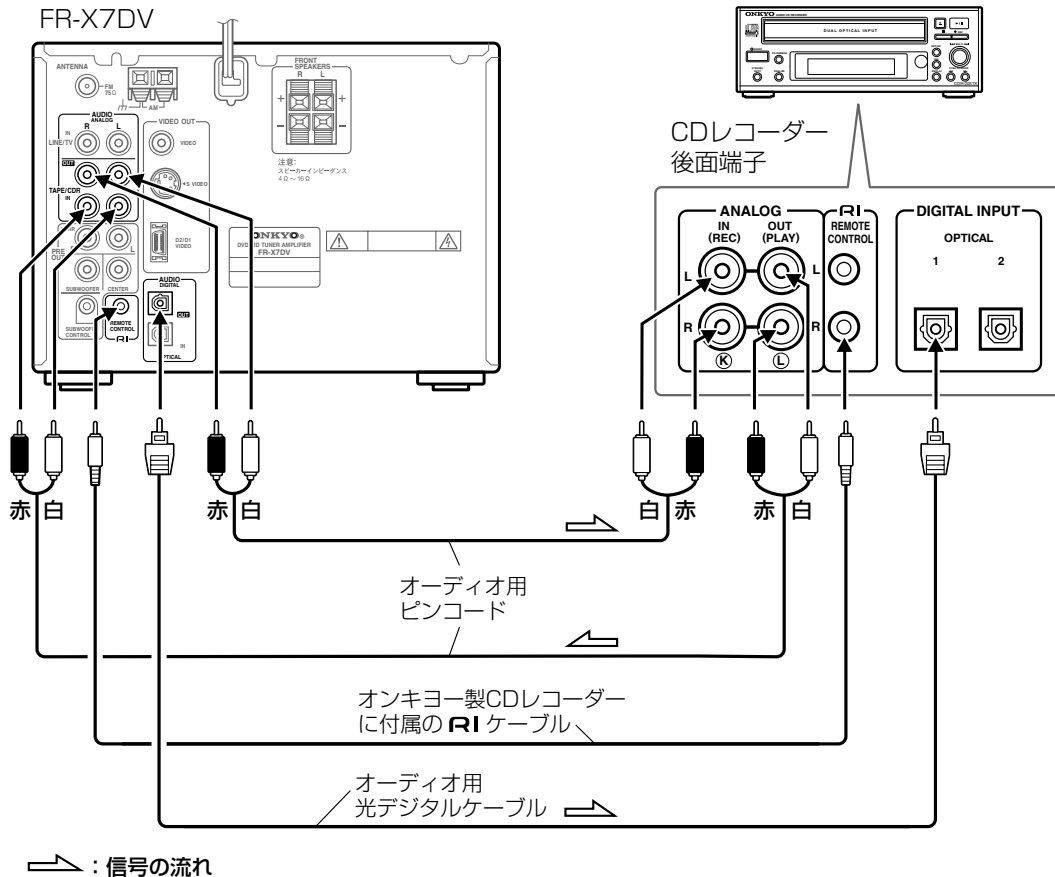
本機のTAPE/CDR OUT端子とカセットテープデッキの音声入力端子、本機のTAPE/CDR IN端子とカセットテープデッキの音声出力端子を接続してください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。(☞97ページ)
  （お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）
- シンクロ録音ができます。(☞60ページ)

CDレコーダーを接続する

■ オンキヨー製CDレコーダーの場合

本機のTAPE/CDR OUT端子とCDレコーダーのIN（REC）端子Ⓚを接続してください。
本機のTAPE/CDR IN端子とCDレコーダーのOUT（PLAY）端子Ⓛを接続してください。
CDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OUT端子とCDレコーダーのDIGITAL INPUT1端子を接続します。

：信号の流れ

■ その他のCDレコーダーと接続する場合

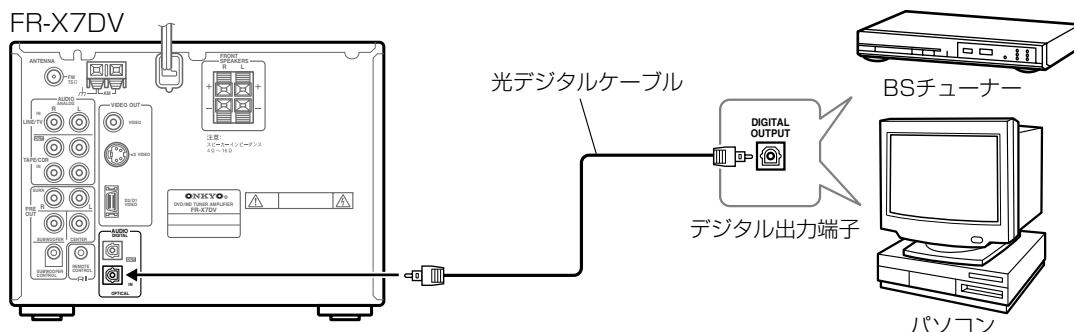
本機のTAPE/CDR OUT端子とCDレコーダーの音声入力端子、本機のTAPE/CDR IN端子とCDレコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。CDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OUT端子とCDレコーダーのデジタル入力端子を接続します。

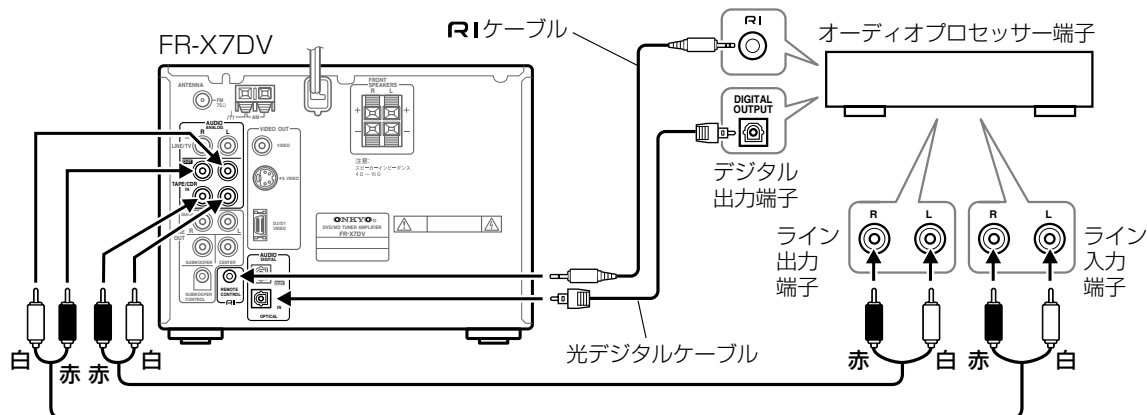
RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オーディオ用ピンコードを接続した場合は、外部入力「TAPE」の表示名称を「CD-R」にする必要があります。オーディオ用光デジタルケーブルとオーディオ用ピンコードを接続した場合は「DIGITAL」の表示名称を「CD-R/dig」にする必要があります。（☞97ページ）
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。

外部機器を接続する

デジタル機器の音声をFR-X7DVで聞く接続をする

本機のDIGITAL IN端子とBSチューナーやパソコンなどのデジタル機器のデジタル音声出力端子を接続してください。

パソコンにデジタル音声出力端子がない場合、UE-205などのオンキヨー製パソコン用オーディオプロセッサーなどを接続すると、パソコンのデジタル音声を本機でお楽しみいただけます。

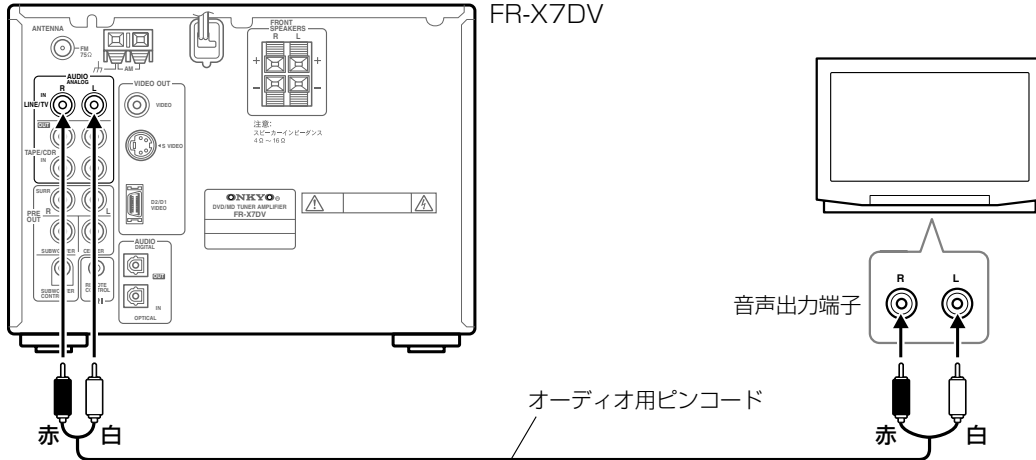
本機のDIGITAL IN端子とオーディオプロセッサーのデジタル音声出力端子を接続します。
RI端子付きオンキヨー製オーディオプロセッサーと接続する場合は、本機のTAPE/CDR IN端子とオーディオプロセッサーのライン出力端子を接続します。本機のTAPE/CDR OUT端子とオーディオプロセッサーのライン入力端子を接続します。

RI端子を接続すると以下の機能が使えます。

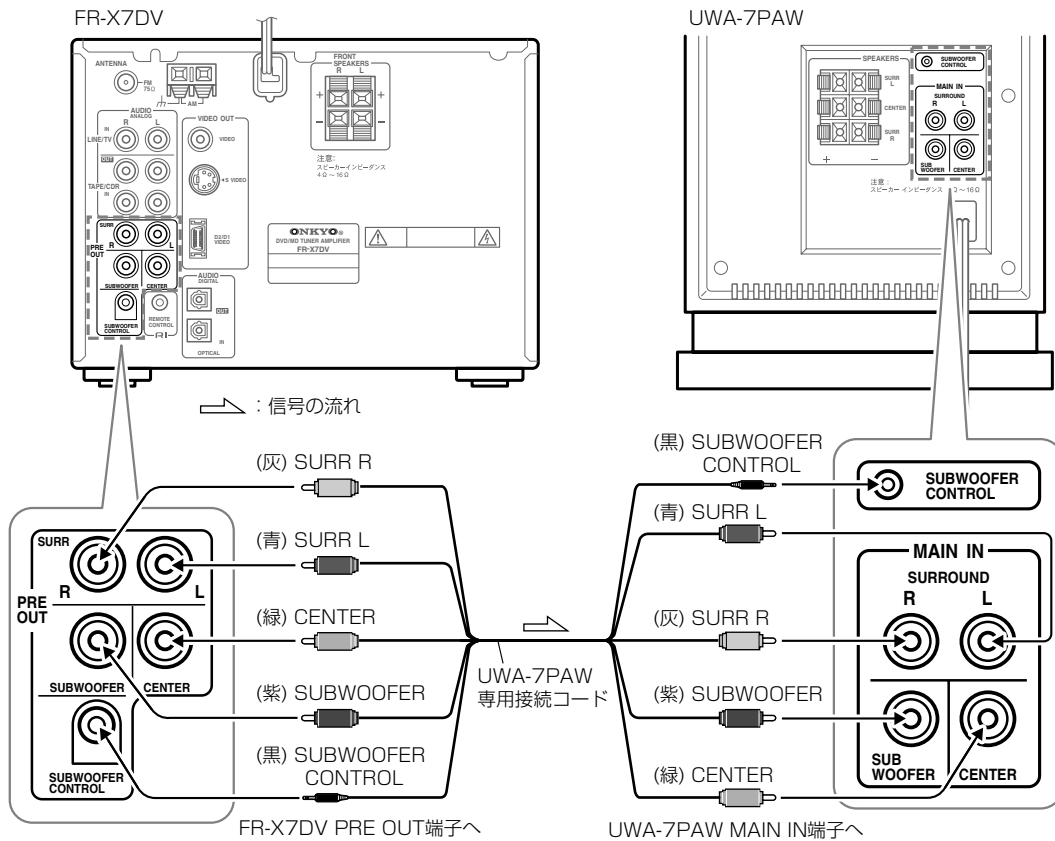
- オンキヨー製オーディオプロセッサーに付属のリモコンで本機の一部の操作ができます。（スタンバイ/オン、入力切り換え、音量調整、ミューティング、チューナー部操作、MD部操作、音質調整）

ご注意

- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製オーディオプロセッサーの操作はできません。
- 外部入力「TAPE」の表示名称を「PC-RI」に変更する必要があります。(☞97ページ)
- オーディオ用光デジタルケーブルとオーディオ用ピンコードを接続した場合は「DIGITAL」の表示名称を「PC-RI/dig」に変更する必要があります。
- オンキヨー製オーディオプロセッサーを経由してパソコン機器を再生すると、本機の入力が自動的に「PC-RI」に切り換わります。

テレビの音をFR-X7DVで聞く接続をする

本機のLINE/TV IN端子とテレビの音声出力端子を接続してください。

別売りのUWA-7と接続して5.1chにする

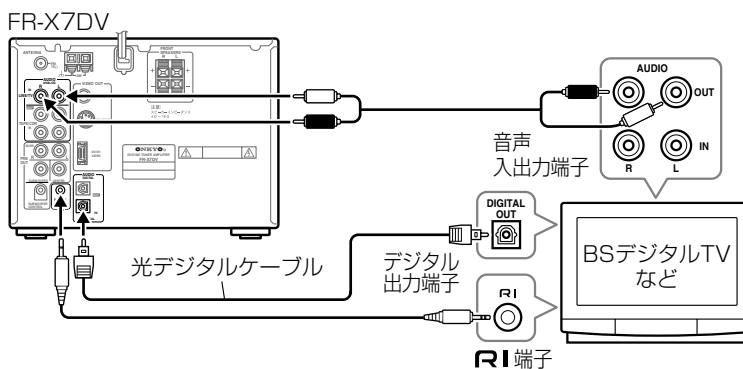
UWA-7に付属のUWA-7PAW専用接続コードを使って、下図のように各端子を接続します。接続すると、本機は自動的にスピーカーが5個とサブウーファーが接続されていることを認識します。（センタースピーカー、サラウンドスピーカーの接続のしかたについては、UWA-7の取扱説明書をご覧ください。）

外部機器を接続する

RIオーディオコントロール端子付きテレビとの連動について

本機はRI端子を持つテレビと接続すると、次のような動作が可能になります。
テレビの電源を入れると本機も自動的に電源が入り、入力が切り換わります。
このとき、テレビの音は消え、本機に接続されたスピーカーから音が出ます。また、テレビの電源を切る（スタンバイにする）と、本機もスタンバイ状態になります。ただし、本機で他の入力を選んでいる場合は、スタンバイ状態にはなりません。

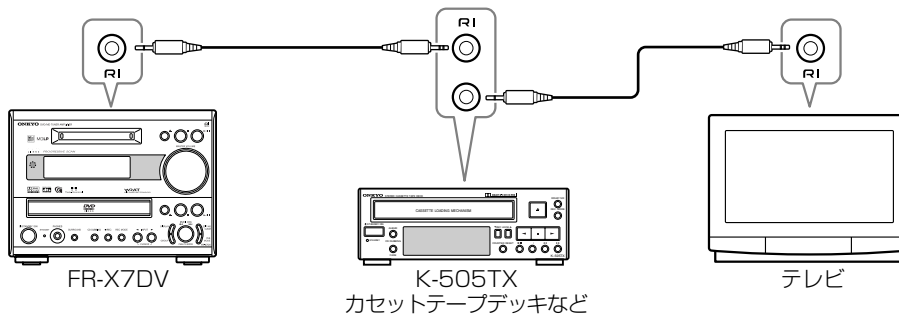
- テレビに付属のリモコンで本機の音量調整、ミューティング（消音）ができます。
- 本機をスタンバイ状態にすると、テレビの音が復帰し、テレビに付属のリモコンでテレビ側の機能（音量、消音）をコントロールできるようになります。

> 連動動作可能なテレビについては、テレビのカタログや取扱説明書で、RIオーディオコントロール端子が装備されているかどうかをご確認ください。本機にケーブルは付属していません。モノラルミニプラグコード（抵抗なし）を別途お求めください。

接続のしかた

設定のしかた

97ページを参照して設定を行ってください。

1. 本機の電源を入れる。
2. 本機のINPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押し、「LINE」を表示させる。
   - 光デジタルケーブルも接続した場合は、「DIGITAL」を表示させます。
3. EDIT/NO/CLEARボタンを押し、「Name Select?」を表示させる。
4. MULTI JOGダイヤルを押してから回し、「TV」を選ぶ。
   - 光デジタルケーブル も接続した場合は、「TV/dig」を表示させます。
5. MULTI JOGダイヤルを押す。

- 他のオンキヨー製品を接続する場合は、RIケーブルでRI端子どうしをつないでください。
- RI端子が2つある製品の場合、2つの働きは同じですのでどちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

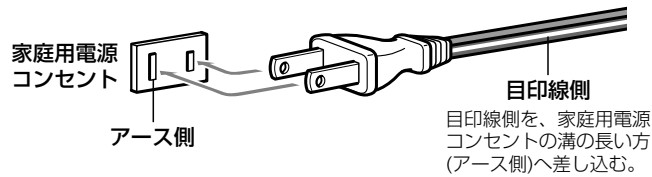
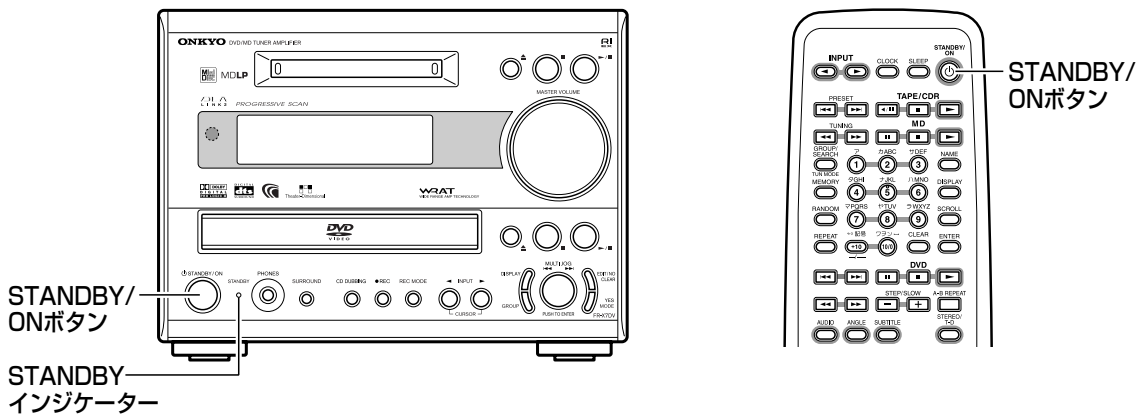
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

例：

電源を入れる

⏻STANDBY/ON

本体

または

STANDBY/
ON

リモコン

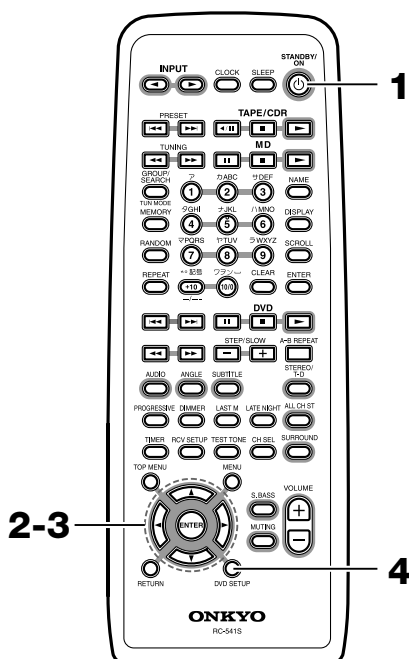
本体またはリモコンのSTANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押す

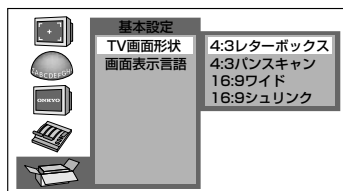
電源を切るときは、同じボタンをもう一度押します。

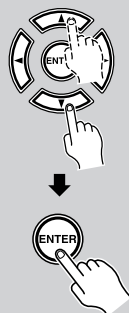
！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製CDレコーダーまたはカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機の電源を入/切しますと、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

DVDの基本設定

テレビ画面を使ってDVDの基本的な設定をします。（この機能を再生中に使うことはできません。）
テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。本機の電源を入れるとテレビに基本設定画面が表示されます。

1 STANDBY/ONボタンを押して電源を入れる

テレビに基本設定画面が表示されます。

表示されないときは、DVD SETUPボタンを押してください。

▲/▼ボタンで基本設定を選び、►ボタンを押してTV画面形状を選択し、ENTERボタンを押します。

2 接続したテレビの画面形状を選ぶ

▲/▼ボタンでテレビの種類を選び、ENTERボタンを押します。

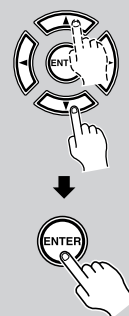
4：3 レターボックス
縦横比が4：3（従来サイズ）のテレビで、ワイド映像の上下に黒帯をつけます。

4：3 パンスキャン
縦横比が4：3（従来サイズ）のテレビで、画面全体に画像が表示され、左右両端の画像がカットされます。この方式に対応していないDVDのときはレターボックス方式になります。

16：9 ワイド
縦横比が16：9（ワイド）のテレビと接続したときに選びます。

16：9 シュリンク
縦横比が16：9（ワイド）のテレビで、4：3で記録された画像は4：3で出力します。

！ヒント

ディスクによってはこの設定の効果がない場合があります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

3 画面表示に使う言語の種類を選ぶ

▲/▼ボタンで画面に表示したい言語の種類を選び、ENTERボタンを押します。

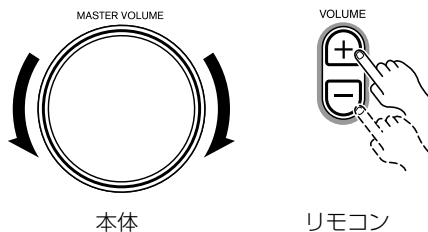
English：
英語で表示します。

日本語：
日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）

4 基本設定を終了する

基本設定画面が消えない場合、DVD SETUPボタンを押します。

基本の操作を理解する

音量を調節する

本体のMASTER VOLUMEつまみを回すか、リモコンの VOLUME ＋ / －ボタンを押す

音量は基本的にMin･1･2････78･79･Maxまでの範囲で調整できます。

音量を一時的に小さくする

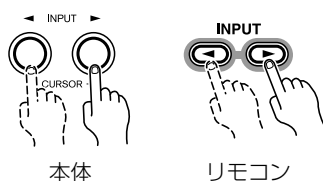
リモコンの MUTING ボタンを押す

MUTING表示が点滅し、音量がごく小さくなります。

解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押します。

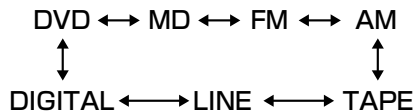
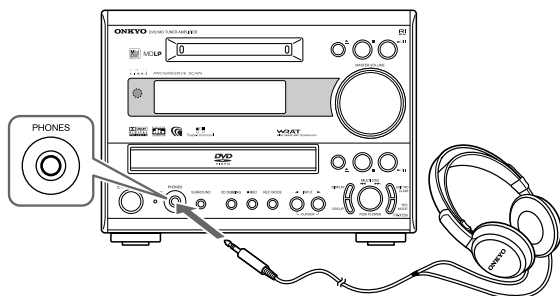
- 音量を変えたり、STANDBY/ONボタンを押した場合にも解除されます。

入力を切り換える

本体またはリモコンの INPUT◄/► ボタンを押して切り換える

本機の入力にはDVD、MD、FM放送、AM放送、TAPE、LINE、DIGITALがあります。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

表示部の明るさを変える

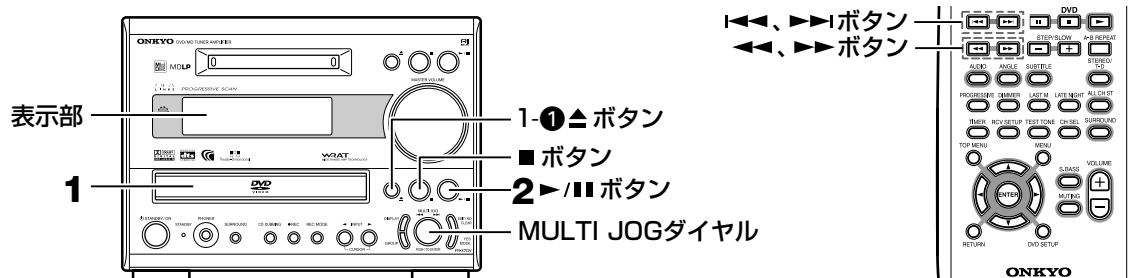
リモコンの DIMMER ボタンを押す

押すたびに、表示部の明るさが以下のように切り換わります。

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。
接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音声は消えます。

！ヒント

サラウンドモードは自動的に「ステレオ」になります。

DVDやCDを再生する

DVDビデオやビデオCDを見るときはテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

1 (DVD側)

DVDをセットする

❶DVDの▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、トレイを開く

❷DVDをトレイに置く

レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。シングルCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

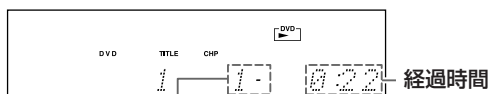
！ヒント

スタンバイ状態のときにDVDの▲ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 (DVD側)

DVDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

トレイが閉まってディスクを読み込んだあと、再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。ディスクを読み込むのに時間がかかることがあります。

再生を止める

DVDの■（ストップ）ボタンを押します。

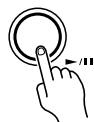
- DVDビデオ、ビデオCDでは、画面に「リジューム」と表示され、停止した場所を記憶します。（リジューム機能）

一時停止する

DVDの▶/❚❚ボタンを押します。表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

DVDを取り出す

DVDの▲ボタンを押します。

停止した場所から再生するには DVD VCD

DVD、ビデオCDのみの機能です。

DVDの▶/❚❚ボタンを押す

！ヒント

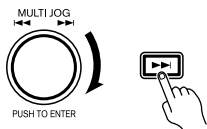
再生を止めたところから再生が始まるのは、止めた場所が本機のメモリーに記録されているからですが、他のDVDを再生したときにメモリーが初期化されます。

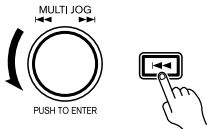
リジューム機能を解除するには DVD

再生停止後、もう一度■ボタンを押します。また、他のDVDを再生するとリジューム機能は解除されます。

見たいチャプター/トラックにスキップする

DVD VCD CD MP3 WMA

見たいチャプター/トラックに進むには

再生中に本体のMULTI JOGダイヤルを右に回すかリモコンの►►▮ボタンを押す

見たいチャプター/トラックに戻るには

再生中に本体のMULTI JOGダイヤルを左に回すかリモコンの▮◄◄ボタンを押す

！ヒント

- ディスクによって停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと再生が始まります。
- CD再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、次のトラックにとびます。

リモコンで早戻し/早送りをする

DVD VCD CD MP3 WMA

早送りするには

再生中にリモコンの►►ボタンを押す

くり返し押すと早送りの速さが変わります。

DVDビデオの場合：5段階
ビデオCD、CD、MP3の場合：3段階
（テレビ画面で確認できます。）

早戻しするには

再生中にリモコンの◄◄ボタンを押す

くり返し押すと早戻しの速さが変わります。

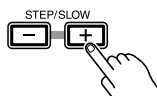
DVDビデオの場合：5段階
ビデオCD、CD、MP3の場合：3段階
（テレビ画面で確認できます。）

！ヒント

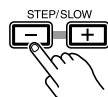
- WMAの早戻しはできません。
- DVDビデオ、ビデオCDの早送り、早戻し中は音声は聞こえません。

通常の再生に戻すには

►ボタンを押す

画像をコマ送りで見る DVD VCD

一時停止中にリモコンのSTEP/SLOW＋ボタンを押す

押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送りするには

一時停止中にリモコンのSTEP/SLOW－ボタンを押す

押すたびに逆方向にコマ送りします。

ご注意

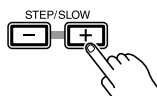
ビデオCDでは逆方向のコマ送り再生はできません。

通常の再生に戻すには

►ボタンを押す

！ヒント

- コマ送り中は音声が出力されません。
- ディスクによってはコマ送り再生中に画像が揺れることがあります。
- 静止画の画像にブレがあるときは、機能設定で画像調整をすることができます。（☞94ページ）

画像をスローで見る DVD VCD

再生中にリモコンのSTEP/SLOW＋ボタンを押す

画面に「スロー１」と表示され、スロー再生が始まります。くり返し押すとスロー再生の速さが切り換わります。

DVDビデオの場合：4段階
ビデオCDの場合：3段階

逆方向にスロー再生するには

再生中にリモコンのSTEP/SLOW－ボタンを押す

DVDビデオの場合：4段階

ご注意

ビデオCDは逆方向のスロー再生ができません。

通常の再生に戻すには

►ボタンを押す

！ヒント

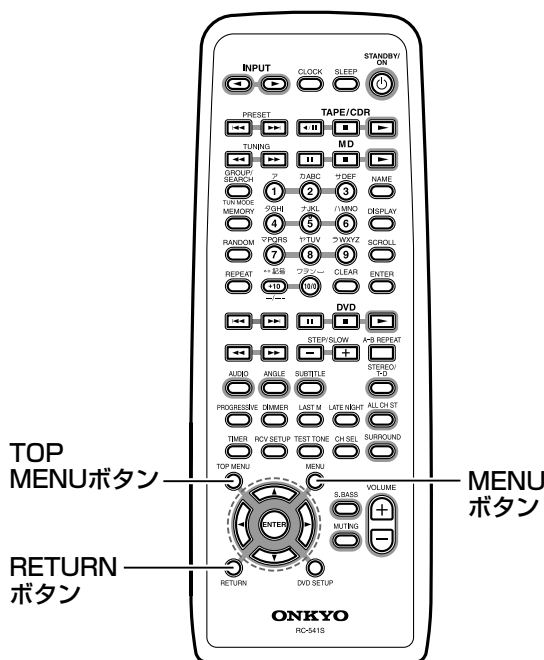
スロー再生中は音声が出力されません。

DVDやCDを再生する

ディスクメニューについて DVD

DVDビデオには複数の言語や音声方式が含まれている場合があります。多くの場合、このようなDVDビデオはメニューで言語や音声方式を選ぶことができます。

ディスクメニューを表示するには

MENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはTOP MENUボタンを押してください。
ディスクによってはメニューが含まれていない場合もあります。

タイトルメニューについて DVD VCD

DVDビデオや、PBC（Playback Control）機能付きのビデオCD（☞99ページ「ビデオCDについて」）は、メニューでタイトルやチャプター（☞101ページ「ディスクに関する用語について」）を選べます。

タイトルメニューを表示するには

TOP MENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはMENUボタンを押してください。
ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

DVDビデオの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは

▲/▼/◀/▶ボタンや数字ボタンで言語や音声方式、タイトルやチャプターを選び、ENTERボタンを押して決定します。

ビデオCDの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは VCD

数字ボタンで項目や設定を選びます。

メニュー画面を出さずに（PBC再生を解除して）再生するときは VCD

停止中にTOP MENUボタンを押します。
数字ボタンを使って再生したいトラックを選びます。

PBC再生中にメニューに戻るには VCD

RETURNボタンを押します。
機能設定のPBCをオンにしておく必要があります。(☞94ページ)

！ヒント

操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。
ディスクにより、ディスクメニューやタイトルメニューに違う名称がつけられている場合があります。また、メインのメニューにディスクメニューやタイトルメニューが含まれている場合があります。

再生中に音声を切り換える DVD VCD

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を変更することができます。ビデオCDではステレオ、モノラルL、モノラルRを切り換えることができます。

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

！ヒント

- ここで切り換えた音声の設定はリジューム機能（☞30ページ）を解除したとき、もとの設定に戻ります。
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
- ＤＶＤの中には、再生中にリモコンのAUDIOボタンで音声を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください。(☞32ページ)

再生中に字幕を切り換える DVD

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中にSUBTITLE（サブタイトル）ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕が切り換わります。

字幕を消すには
SUBTITLEボタンをくり返し押して「字幕なし」を選びます。

！ヒント

- ここで切り換えた字幕の設定は、リジューム機能（☞30ページ）を解除したとき、もとの設定に戻ります。
- ＤＶＤの中には、再生中にリモコンのSUBTITLEボタンで字幕を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください。(☞32ページ)

カメラアングルを切り換える DVD

複数の方向（アングル)から写した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには🎥マークが付いています。

1

🎥マークが表示されたら、ANGLE（アングル）ボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると🎥マークが表示部に表示されます。

押すたびにアングルが切り換ります。

！ヒント

- ディスクによっては🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- ディスクによってはディスクのメニュー画面でもアングル切り換えることができます。
- ディスクによっては一時停止中のアングル切り換えを禁止しているものがあります。

DVDやCDを再生する

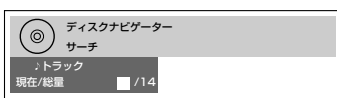
見たい/聞きたい場所を探す DVD VCD CD

DVDのタイトル/チャプター、ビデオCD/CDのトラックを指定して再生します。

1 再生中にSEARCH（サーチ）ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

DVD

CD

2 希望のタイトル / チャプターまたはトラックを選ぶ

DVDのタイトルを選択する場合は◄ボタンを押し、数字ボタンで番号を指定します。

例：
- 3を選ぶには「3」を押します。
- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

取り消したい場合はCLEAR（クリア）ボタンを押します。

3 ENTER（エンター）ボタンを押す

再生が始まります。

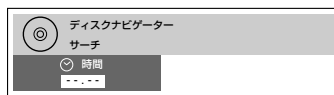
！ヒント

- ディスクナビゲーター画面を表示しなくても数字ボタンで直接チャプターやトラックを選択することもできます。（10を選ぶには「+10」と「0」を押します。）
- DVDにタイトルやチャプターがひとつしかない場合はタイトルやチャプターは選択できません。
- DVDやビデオCDの中のメニューから選べる場合もあります。
- DVDによってはタイトルのみ選択できるもの、またタイトルが選択できないディスクがあります。

タイムサーチを使って見たい/聞きたい場所を探す DVD VCD CD

再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1 再生中にSEARCHボタンを2回押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2 数字ボタンで再生したい時間を指定する

例：

- ２１分４３秒を選ぶには、「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
- 1時間14分（=74分00秒）を選ぶには「7」、「4」、「0」、「0」と押します。

3 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ＤＶＤなど、ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください。
- ディスクによっては指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ビデオCDのPBC再生中、タイムサーチはできません。PBC再生を解除してください。(☞32ページ)
- ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中はタイムサーチはできません。
- DVDはタイトル内、ビデオCD、CDはトラック内の時間が指定できます。

MP3、WMAを再生する MP3 WMA

MP3、WMAを再生します。MP3やWMAとは音声圧縮技術規格の名称です。パソコンなどからCD-Rに記録した場合、記録方法やデータによって再生できない場合があります。(☞99ページ)

1 ディスクをセットする

自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。

2 ▲/▼ボタンを押して、フォルダを選びENTER(エンター)ボタンを押す

フォルダが開き、トラック欄に1つ下の階層が表示されます。

フォルダを閉じて前の手順に戻るにはRETURN(リターン)ボタンを押します。

3 ▲/▼ボタンで再生したいトラックを選び、ENTERボタンを押す

再生が始まります。

再生中にはフォルダ番号、トラック番号、経過時間が右上に表示されます。

！ヒント

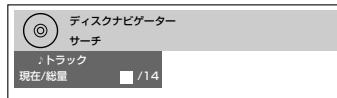
ランダム再生中にディスクナビゲーターを使用すると◀/▶/▲/▼ボタンは使用できません。

■ 番号のつきかた

自動的に番号が表示されます。

MP3、WMAのトラックを選択する

1 再生中にSEARCH(サーチ)ボタンを押す

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2 数字ボタンでフォルダ内のトラック番号を指定する

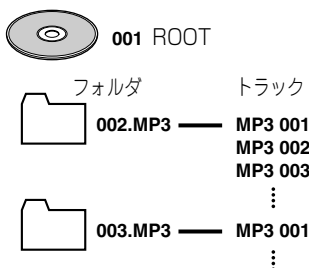
例：

- ●003を選ぶには「3」を押します。
- ●010を選ぶには「1」と「0」を押します。
- ●037を選ぶには「3」と「7」を押します。

3 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクナビゲーターのサーチ画面を表示しなくても数字ボタンで選択することもできます。(10を選ぶには「+10」と「0」を押します。)
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。

JPEG CDを再生する JPEG

テレビ画面でJPEG画像を見ることができます。JPEGとは静止画の圧縮方式です。パソコンなどからCD-Rに記録した場合、記録方法やデータによって再生できない場合や操作に制限がかかることがあります。

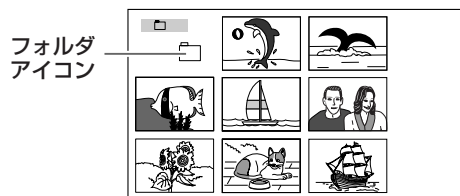
JPEG（画像）データの入ったディスクをトレイにセットする

ディスクを入れると自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。ディスクによってサムネイル一覧画面が表示されることもあります。

! ヒント

- JPEGの解像度が640/480ピクセル以下の場合のみサムネイルが表示されます。
- 解像度が640/480以上の場合は、サムネイルデータがあるときのみ表示されます。
- テレビ画面設定が16：9シュリンクのとき、ディスクナビゲーターによるサムネイルは表示されません。

サムネイル一覧画像を見るには

MENU（メニュー）ボタンを押します。
サムネイル一覧画面が表示されます。

ディスクナビゲーターを表示するには

◀/▶/▲/▼ボタンでフォルダアイコンを選択し、ENTERボタンを押します。

スライドショーを見るには

スライドショー形式で、画像を自動で切り換えて表示することができます。
開始する画像を選び、ENTERボタンを押します。
全ての画像が表示されたら自動的に停止します。

■ スライドショー中にこんな機能が使えます

次のページを表示するには

▶▶▮ボタンを押します。
本体ではMULTI JOGダイヤルを右に回します。

前のページを表示するには

▮◀◀ボタンを押します。
本体ではMULTI JOGダイヤルを左に回します。

画像を回転させるには

リモコンの◀/▶/▲/▼ボタンを押します。

! ヒント

ズーム中はできません。

ズームするには

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押します。
◀/▶/▲/▼ボタンで位置を調整できます。ズームをするとスライドショーは一時停止します。

ズームをやめるには

▶（プレイ）ボタンを押します。

スライドショーを一時停止するには

▮▮（ポーズ）ボタンを押します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

スライドショーをやめるには

■（ストップ）ボタンまたはMENUボタンを押します。

! ヒント

- データ形式やファイルサイズによってズームできない画像もあります。
- 映像の出力方式がプログレッシブのときは、ズームできません。インターレース方式に切り換えてください。

DVDやCDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。音楽用CDの場合、CDダビング機能と組み合わせて使用することができます。

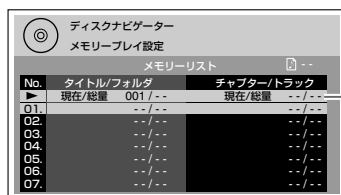
メモリー再生 DVD VCD CD

DVDのタイトル/チャプター、ビデオCD/CDのトラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大32ステップまでメモリーできます。CDの場合、CDダビング機能と組み合わせてお好みのMDを簡単に作成できます。スタンバイ状態にするとメモリーは解除されます。

1 MEMORY（メモリー）ボタンを押す

MEMORY

メモリープレイ設定画面が表示されます。

メモリー入力欄

DVDのときは◄/►ボタンでチャプターまたはタイトルを選びます。その他のディスクのときは手順 **2**に進みます。

2 ▲ / ▼ボタンでメモリーしたいチャプターやトラックを指定する

ENTER

「オール」を選ぶとディスク内の全てのタイトル、チャプター、トラックをメモリーします。

！ヒント

数字ボタンでも入力することができます。

例：

- 10を選ぶには「1」と「0」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。
- 取り消したい場合はCLEAR（クリア）ボタンを押します。
- オールを選ぶには「10/0」を押します。

3 ENTER（エンター）ボタンを押す

続いて指定するには手順 **2**、**3**をくり返します。

4 ►（プレイ）ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

■ メモリー再生を停止するには

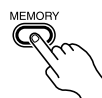
■（ストップ）ボタンを押す

■ メモリーする項目を挿入するには

1. メモリープレイ設定画面を表示させる
2. メモリー入力欄が選択されていますが、►ボタンを押して、下のリストに移動する
3. ▲/▼ボタンで挿入したい場所を選びENTERボタンを押す
4. メモリーしたいタイトル、チャプター/トラック、フォルダを選びENTERボタンを押す

■ メモリーした項目を消去するには

1. メモリープレイ設定画面を表示させる
2. メモリー入力欄が選択されていますが、►ボタンを押して、下のリストに移動する
3. ▲/▼ボタンで消去したい項目を選び、CLEARボタンを押す

■ メモリー設定画面を終了するには

MEMORYボタンを押します。

！ヒント

- ディスクによってはメモリー再生を禁止しているものがあります。
- チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。
- メモリー再生中にサーチ機能は使用できません。

MP3、WMA、JPEGのメモリー再生をする

MP3 WMA JPEG

1

MEMORY

MEMORY（メモリー）ボタンを押す

プレイリストが表示されます。

フォルダ欄 トラック欄

2

▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、メモリーするトラックを選び ENTER（エンター）ボタンを押す

！ヒント

トラック欄でフォルダマークを選択すると、プレイリストに「オール」と表示され、フォルダ内の全てのトラックがメモリーされます。

3

▶（プレイ）ボタンを押す

再生が始まります。

順不同に再生をする（ランダム再生）

DVD VCD CD MP3 WMA JPEG

タイトルやチャプター、トラック、フォルダなどをランダムに再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。

1

RANDOM（ランダム）ボタンを（くり返し）押し、ランダム再生の種類を選ぶ

DVD：
タイトル(タイトル内のチャプターをランダム再生します。)
ディスク（ディスク内のタイトル、チャプターをランダム再生します。）

ビデオCD、CD：ディスク（ディスク内のトラックをランダム再生します。）

MP3、WMA：
フォルダ、ディスク（サブフォルダの中は再生されません。）

2

▶（プレイ）ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

！ヒント

- ランダム再生中に▶▶▮ボタンを押すと順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ディスクによってはランダム再生を禁止しているものがあります。
- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ランダム再生中にディスクナビゲーター画面での◀/▶/▲/▼ボタンは使えません。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生できません。PBC再生を解除してからＲＡＮＤＯＭボタンを押します。(☞32ページ)

通常の再生に戻すには

CLEARボタンを押します。

くり返し再生をする（リピート再生） DVD VCD CD MP3 WMA

選んだタイトル/チャプターやフォルダ、トラックをくり返し再生したり、1曲だけくり返し再生することができます。スタンバイ状態にすると解除されます。
メモリー再生、ランダム再生、通常の再生と組み合わせて使うことができます。

1

REPEAT（リピート）ボタンを（くり返し）押す

ディスクによってリピート再生の種類が異なります。

DVD：
チャプター、タイトル、ディスクリピート

ビデオCD、CD：
トラック、ディスクリピート

MP3、WMA：
トラック、フォルダ、ディスクリピート

2

► ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してからREPEATボタンを押します。（☞32ページ）
- ディスクによってはリピート再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にREPEATボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

通常の再生に戻すには
画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT」が消えるまでREPEATボタンを（くり返し）押します。

選んだ部分だけをくり返し再生する（A－Bリピート再生） DVD CD

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1

再生中にくり返したい場所の始めで A-B REPEAT（リピート） ボタンを押す

2

くり返したい場所の終わりでA-B REPEATボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

！ヒント

- ディスクによっては指定した箇所から少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによってはA-Bリピート再生を禁止しているものがあります。
- A-Bリピート再生中にアングルを切り換えても（☞33ページ）A点から再生が始まるときに、もとのアングルに戻ります。

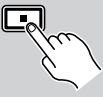
通常の再生に戻すには
CLEAR（クリア）ボタンを押す
画面に「リピート解除」と表示されるまで、REPEATボタンを（くり返し）押しても、通常の再生に戻ります。

DVDやCDのいろいろな再生

ラストメモリー機能を使う DVD VCD

ディスクを取り出しても、つづきからみる場所、そのときの設定内容を6枚まで記憶させておくことができます。ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。

1

再生中にLAST M（ラスト メモリー）ボタンを押す

画面に「ラストメモリー」と表示されます。押すたびに記憶する場所が変わります。

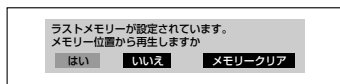
2

STANDBY/ON

または

STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押して電源を切る、または■（ストップ）ボタンを押す

■ つづきから見るには

1. **続きから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
   DVDにはディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、■ボタンを押してください。
2. **▶（プレイ）ボタンを押す**

3. **◀/▶ ボタンでそのまま再生する場合は「いいえ」を選び、記憶させた場所から再生するには「はい」を選ぶ**
4. **ENTER（エンター）ボタンを押す**
   つづきから再生が始まります。

リジューム機能が働いている場合は、前回停止した場所から再生が始まります。始めから再生するにはリジューム機能を解除してください。（☞30ページ）

■ ラストメモリーを消去するには

手順3.で「メモリークリア」を選び、ENTERボタンを押します。

！ヒント

- DVDにはラストメモリーできないものがあります。
- メニュー画面が表示されているときは、ラストメモリー機能は使えません。
- DVDでは、記憶された枚数が6枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ビデオCDのPBC再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC再生を解除してください。（☞32ページ）

ディスクの情報を見る

DVDのタイトル/チャプター情報、ビデオCD/CDのトラック情報、またはMP3のフォルダ/トラック情報などを見ることができます。表示される情報の内容はディスクの種類によって異なります。

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

もう一度押すと次の情報が表示されます。

DVD

▷ 再生　ディスク DVD
タイトル　現在/総量 1/2　経過時間 1.23.34　残り時間 22.08　総時間 1.45.42
オーディオ　1.英語:Dolby Digital 3/2.1ch　アングル
字幕　1.日本語　1/1

▷ 再生　ディスク DVD
チャプター　現在/総量 31/38　経過時間 0.04　残り時間 1.44　総時間 1.48
転送レート　4.4Mbps

転送レートとは、DVDに記録されている情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

CD

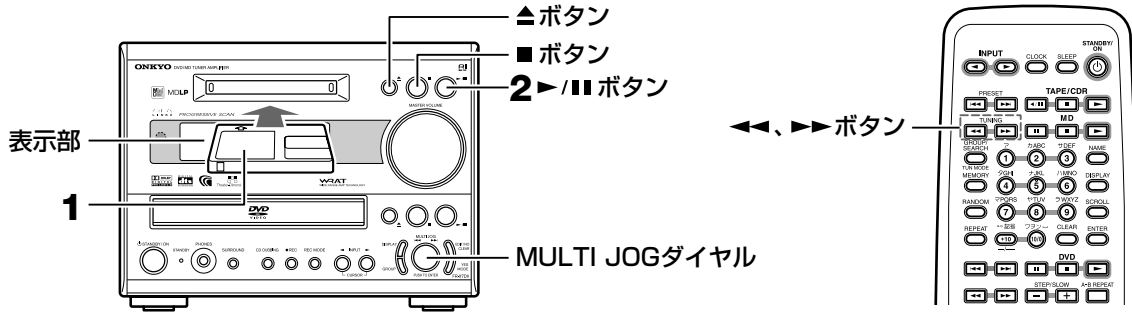
▷ 再生　ディスク CD
♪トラック　現在/総量 1/20　経過時間 0.41　残り時間 2.42　総時間 3.24

▷ 再生　ディスク CD
ディスク　現在/総量 1/20　経過時間 0.50　残り時間 76.10　総時間 77.17

MP3、WMA

ディスクの情報を消すには

DISPLAYボタンを押します。

MDを再生する

1

MD をセットする

再生専用か、録音済みのMDを選んでください。

ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。

軽く押すと自動的に引き込まれます。

！ヒント

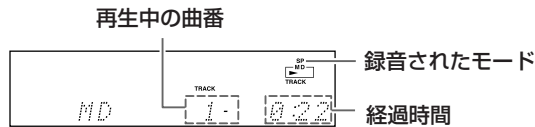
スタンバイ時の時計表示をあり（☞81ページ）にしている場合は、スタンバイ時にMDを挿入すると自動的に電源が入ります。

スタンバイ時の時計表示を「なし」（☞81ページ）にしている場合は、電源を入れてからMDを挿入してください。

2

（MD側）

MD の ▶/❚❚ ボタンを押す

（プレイ/ポーズ）

再生が始まります。

再生を止める

MDの■（ストップ）ボタンを押します。

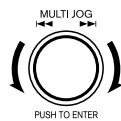
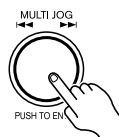
一時停止する

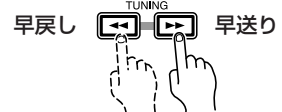
MDの▶/❚❚ボタンを押します。
表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

MDを取り出す

MDの▲（イジェクト）ボタンを押します。

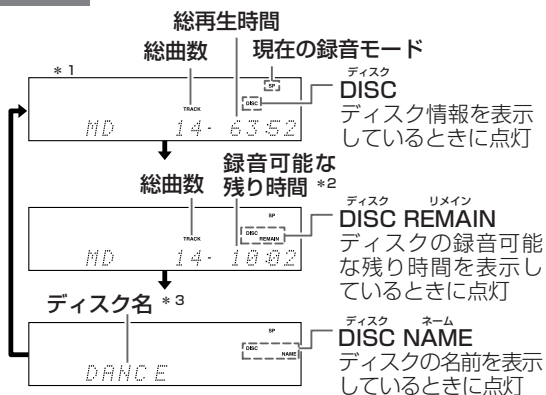
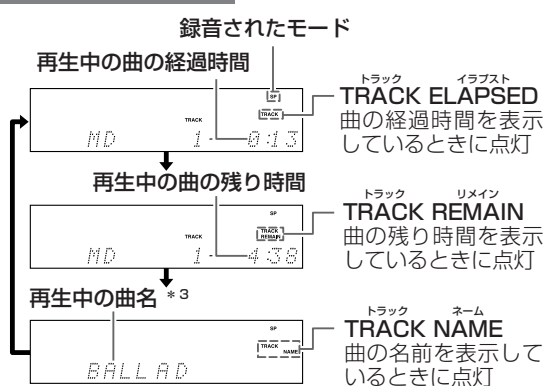
聞きたい曲を選ぶ

- 再生中にMULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は左に回すと前の曲を選択します。
右に回すと1曲ずつ次へ進みます。

- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。

リモコンで早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

MDを再生する

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

再生中、一時停止中

＊1 なにも録音されていないＭＤのときは、「ＭＤ BlankDisc」が表示されます。
＊2 再生専用ディスクのときは表示しません。
＊3 ディスクや曲に名前がついていないときは総曲数または曲番のみが表示されます。
「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」
(☞78ページ)

ディスク名、曲名が長いときは

リモコンのSCROLLボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

リモコンで操作する

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

数字ボタン

選曲して再生する

+10 は入力する位の指定、10/0 は10もしくは0を表します。

例）曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	+10、3、4
103	+10、+10、1、0、3

MDを選ぶ

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じ❚❚ボタンまたは、MDの▶ボタンを押します。

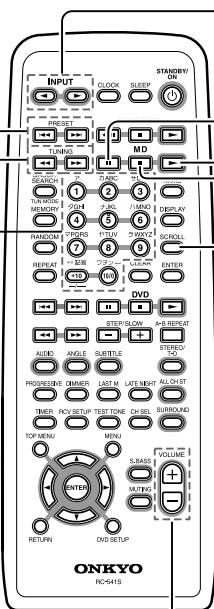
再生する

スタンバイ状態でMDがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

再生を止める

長いディスク名/曲名をスクロール表示する

音量を調節する

VOLUME ＋ ボタンを押すと音が大きく、VOLUME － ボタンを押すと小さくなります。

MDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

MEMORY再生

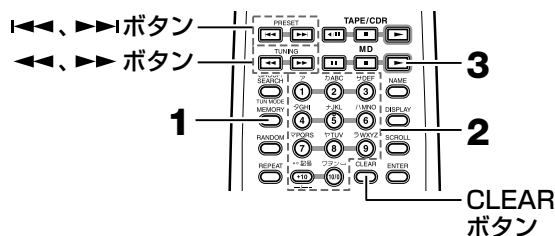
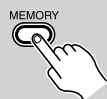
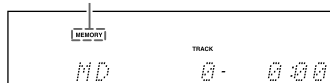
曲を指定し（25曲まで)、その順序で再生します。

入力がMDで停止中

1

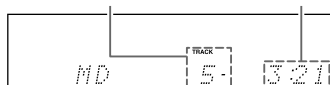
MEMORY ボタンを押して、「MEMORY」を表示させる

点灯

MEMORY　TRACK
MD　0-　0:00

2

数字ボタンを押して曲を選ぶ

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

間違って予約した曲を取り消すには

CLEARボタン（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

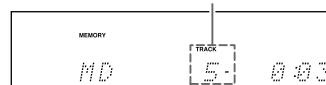
！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、MEMORY再生に支障はありません。
511分59秒を超えると「－－－：－－」となります。
26曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されます。

3

MDの▶ボタンを押す

MEMORY再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲する

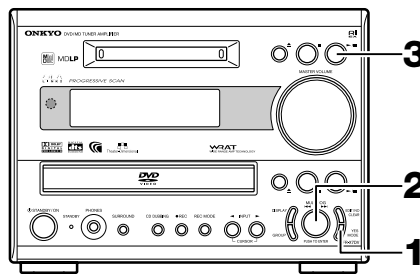
再生中に本体のMULTI JOGダイヤルを回すか、リモコン左上のPRESET|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中にリモコン左上のTUNING◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- MEMORY再生モードの停止中に、CLEARボタンを(くり返し)押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。
- ディスクを取り出すと、記憶した内容は消えます。

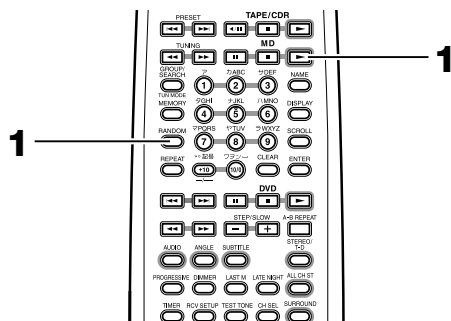
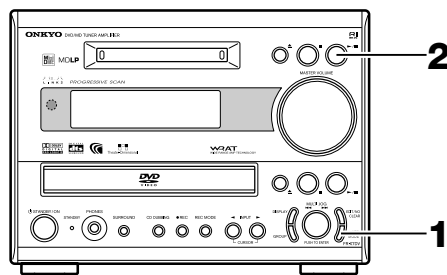
本体で操作するには

1. **YES/MODEボタンをくり返し押して、「MEMORY」を表示させる**
2. **MULTI JOGダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する**
   次の曲を選ぶときは、本手順をくり返します。
3. **MDの▶/||ボタンを押す**

通常再生に戻すには

入力がMDで停止中にリモコンのMEMORYボタンを押します。（本体のYES/MODEボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」と表示されない状態にしても通常再生に戻ります。）

MDのいろいろな再生

RANDOM再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

本体で操作するには

入力がMDで停止中

RANDOMボタンを押し、MDの▶ボタンを押す

RANDOM再生が始まります。

入力がMDで停止中

1

YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「RANDOM」を表示させる

「RANDOM」が点灯

2

MDの▶/❚❚ボタンを押す

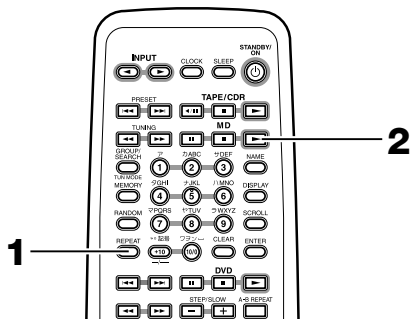
RANDOM再生が始まります。

再生中の曲番

通常再生に戻すには

入力がMDで停止中にリモコンのRANDOMボタンを押します。（本体のYES/MODEボタンを（くり返し）押して、「RANDOM」と表示されない状態にしても通常再生に戻ります。）

REPEAT再生

- リモコンで設定します。
- MDをくり返し再生します。
- 1GR再生（☞67ページ）、MEMORY再生、RANDOM再生、通常再生と組み合わせて使うことができます。

1	**REPEATボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」を表示させる** 「REPEAT」が点灯 REPEAT再生モードになります。
2	**MDの►ボタンを押す** REPEAT再生が始まります。

！ヒント

1曲だけをくり返し再生するには

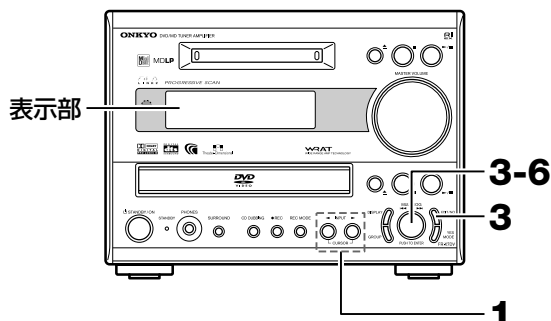
① リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して「REPEAT 1」を表示する。
② 数字ボタンで好みの曲を選び、再生する。

通常再生に戻すには

REPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」が表示されていない状態にする。

FR-SX7DV(41-45)(SN29343536B) 45 03.10.31, 9:16 AM

FM、AM局を1局ずつ登録する–プリセットライト

周波数を手動で合わせて、1局ずつプリセットチャンネルに登録します。
好きな局順に登録するのに便利です。

予備知識

- プリセットは、FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- プリセットライトの場合は、任意のチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

操作の前に
電源を入れてください。

1

INPUT◄/►ボタンを（くり返し）押して、「AM」を表示させる

AM

FM局を登録するときは「FM」を表示します。

2

リモコン

リモコン左上のTUNING◄◄/►►ボタンを押して、受信したい放送局の周波数を表示させる

AM 810kHz

ボタンを押し続けると連続して周波数が変わります。

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Preset Write?」を表示させる

PresetWrite?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

AM 810kHz 1

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

5

別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOGダイヤルを回す

AM 810kHz 4

6

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

「Complete」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

「Overwrite?」(書き換えますか?)と表示されたときは

Over Write? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。

YES MODE

EDIT/NO CLEAR

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODEボタンを押します。
- 登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

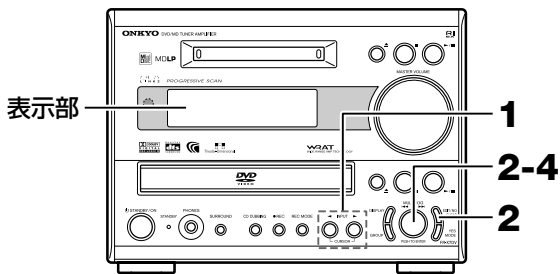
FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞71ページ）、再度登録してください。

7 次を登録するときは、手順**2**～**6**をくり返す

プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞78ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞71ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞72ページ

FM局を自動で登録する−オートプリセット

登録すれば放送局を周波数で合わせなくてもチャンネル選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。AM局はオートプリセットできませんので、前ページをご覧ください。

予 備 知 識

- FMの受信周波数は76.00〜108.00MHzですが、オートプリセットは76.00〜90.00MHzの間で行います。
- 既にFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。

FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください（☞49ページ）

ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなプリセットチャンネルは削除してください。（☞71ページ）

1

INPUT（インプット）◀/▶ ボタンを（くり返し）押して、「FM」を表示させる

2

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して「AutoPreset?（オートプリセット?）」を表示 させる

MULTI JOG

PUSH TO ENTER

3

MULTI JOGダイヤルを押す

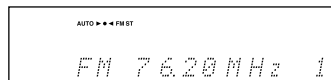
AutoPreset ??

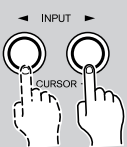
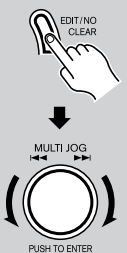
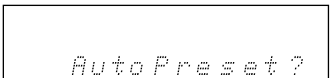
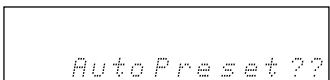
再確認のため、「AutoPreset??（オートプリセット??）」が表示されます。

中断するときはEDIT/**NO**/CLEARボタンを押してください。

4

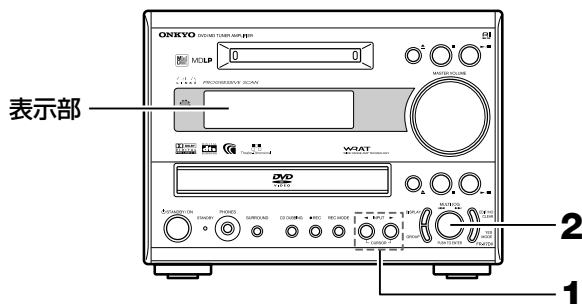
MULTI JOGダイヤルを押す

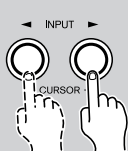
AUTO FM ST
FM 76.20MHz 1

オートプリセットが始まります。

周波数の低い順から自動的に最大20局まで登録していきます。

プリセットしたあとにこんなこともできます

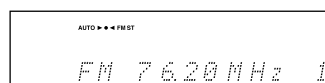
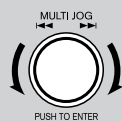
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞78ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞71ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞72ページ

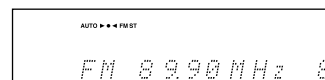
FM/AM放送を聞く

あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。
（☞46〜48ページ）

操作の前に
電源を入れてください。

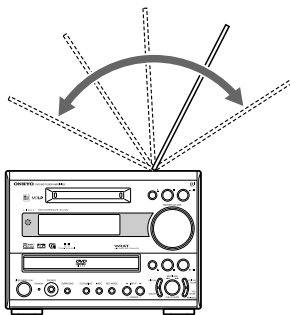
1

入力を FM または AM にする

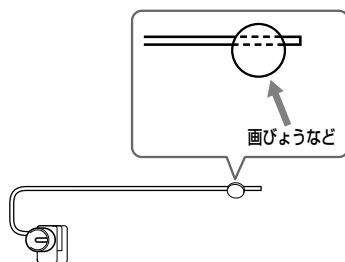
INPUT（インプット）◀/▶ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。入力を切り換えたとき、放送が聞こえるまで約20秒かかることがあります。

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

アンテナの調整をする

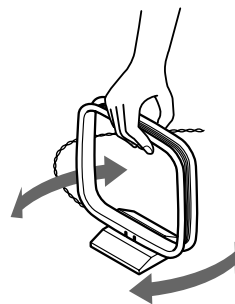
FMアンテナを調整して固定する
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

AMアンテナを調整する
AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

FM/AM放送を聞く

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

＊ プリセットチャンネルに名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」
(☞78ページ)

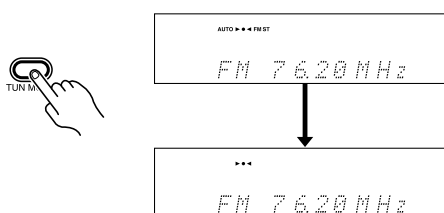
リモコンで操作する

マニュアルで周波数を合わせるときは

❶電源を入れる

❷入力をFMかAMにする

❸**リモコン左上のTUNING◄◄/►►ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる**
一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。1秒以上押すと周波数が連続して変化します。FMの場合はリモコンの◄◄または►►ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動で停止します。

FM放送を受信しにくいときは
電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのTUN MODEボタンを押し、AUTOの表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTOにもどすときは、同じボタンを再度押します。

サラウンドを楽しむ

サラウンドモードについて

本機のサラウンド再生によって、お部屋にいながら映画館やコンサートホールなどの臨場感あふれる雰囲気を味わっていただけます。
最適なサラウンド再生をお楽しみいただくためには、スピーカーの設定を行う必要があります。（☞95ページ）本機には以下のサラウンドモードがあります。

Stereo（ステレオ）

左右フロントスピーカーから出力されます。UWA-7を増設しているときは、サブウーファーからも出力されます。

Theater-Dimensional（シアター ディメンショナル）

2または3つのスピーカーで、あたかも5.1チャンネル再生しているかのようなバーチャル再生をお楽しみいただけます。

別売りのUWA-7を増設し、「スピーカーの数」を正しく設定すると、以下のサラウンドモードがお楽しみいただけます。

Dolby Digital（ドルビー デジタル）

劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれるサウンドが体験できるサラウンドモードです。DOLBY DIGITALマークのついたDVD、LD、CDなどの再生時に楽しむことができます。

DTS (Digital Theater System)（デジタル シアター システム）

限りなく原音に忠実なサラウンドを再現するデジタルサラウンド方式です。完全に分離させた5.1チャンネルで膨大となる音声データを、可能な限り原音に近い状態で圧縮したデジタルデータです。極めて高音質の音声を提供します。dtsマークのついたCD、DVD、LDなどを再生時に楽しむことができます。

Dolby Pro Logic II（ドルビー プロ ロジック）

映画に最適なMOVIE（ムービー）モードと音楽再生に最適なMUSIC（ミュージック）モードの2つのモードが選択できます。MOVIEモードでは、従来モノラルで帯域の狭かったサラウンドチャンネルがステレオ再生になり、それぞれ独立した音を出すため、より移動感のある再生が楽しめます。DOLBY SURROUNDマークのついたVHSやDVDビデオ、または一部のテレビ番組再生時に楽しむことができます。また、MUSICモードでは、2チャンネルの音楽に対しても自然な音場感をサラウンドチャンネルより再生します。CDなどのステレオ音楽や、ライブを記録したDVDにも適しています。

AAC

MPEG（エムペグ）-2AAC方式で圧縮されたデジタルデータで、最大5.1チャンネルのサラウンド音声を提供します。BSデジタル放送などのAACソースを再生するために使用します。

オンキヨー独自のサラウンドモード（DSP）

ドルビーデジタルまたはDTS、AAC以外の信号を再生するときは、オンキヨー独自のサラウンドモードを楽しむことができます。

Orchestra（オーケストラ）

クラシックやオペラに適したモード。
センターチャンネルをカットするとともに、音声イメージが全体に広がるようなサラウンド感を強調。大ホールで聞いているような自然な響きが楽しめます。

Unplugged（アンプラグド）

アコースティックやボーカル、ジャズなどに適したモード。フロントの音場イメージを重視することで、あたかもステージの前で聞いているような音場イメージをつくります。

Studio-Mix（スタジオ ミックス）

ロック、ポピュラーミュージックなどに適したモード。パワフルな音響イメージを再現した臨場感あふれるサウンドは、あなたをあたかもクラブハウスにいるような気分にするでしょう。

TV Logic（ティーヴィーロジック）

放送局のスタジオから放映されているテレビ放送に適したモード。局のスタジオにいるような臨場感を高めます。すべてのサラウンド音声を強調し、会話音声を明瞭にします。

All Ch St（オールチャンネルステレオ）

BGMとして音楽をかける時に便利なモード。サラウンドスピーカーもフロントスピーカーと同じ音が出て迫力ある音場をお楽しみいただけます。

サラウンドを楽しむ

サラウンドモードを選ぶ

1 選んだ機器を再生する

2 サラウンドモードを選ぶ

本体またはリモコンのSURROUNDボタンを押してサラウンドモードを選びます。

ボタンを押すたびに、サラウンドモードが切り換わります。再生する信号によって選択できるサラウンドモードが異なります。下記の「再生するソースと対応するサラウンドモード」をご覧ください。

フロントスピーカーのみの場合（2ch）

本体またはリモコンのSURROUNDボタンを押してステレオとシアターディメンショナルを切り換えます。

UWA-7を増設している場合（5.1ch）

本体またはリモコンのSURROUNDボタンを押してサラウンドモードを切り換えます。

！ヒント

- リモコンのSTEREO/T-Dボタンを押してステレオとシアターディメンショナルを切り換えることもできます。
- AACの音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声の切り換えができます。
- UWA-7を増設している場合は、リモコンのALL CH STボタンを押してAll Ch Stに切り換えることもできます。

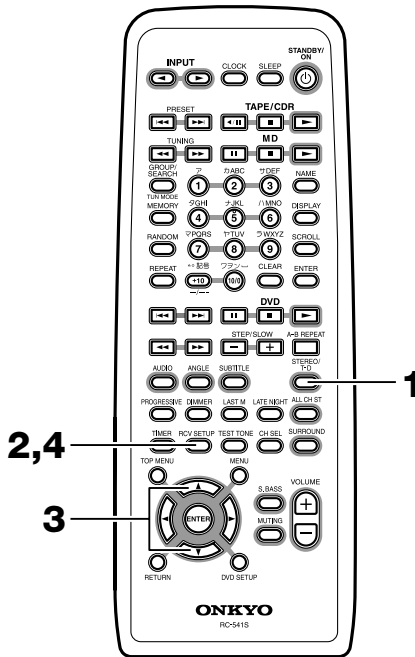
再生するソースと対応するサラウンドモード

最低限必要なスピーカー数	再生するソース	ANALOG/PCM	DOLBY D		DTS	AAC		
			モノラル マルチチャンネル	ステレオ		音声多重	ステレオ	それ以外
	ソースとなるソフト ／ サラウンドモード	カセット、CD ビデオ、チューナー	DVDビデオ		DVDビデオ LD、CD	BSデジタル		
2ch	Stereo	●	●	●	●		●	●
	Theater-Dimensional	●	●	●	●			
	Main（AAC）					●		
	Sub（AAC）					●		
	Main＋Sub（AAC）					●		
別売のUWA-7を増設すると以下のサラウンドモードがお楽しみいただけます。								
3ch	Dolby D		●					
	DTS				●			
	AAC							●
	PL II Movie	●		●			●	
	PL II Music	●		●			●	
4ch	Orchestra	●						
	Unplugged	●						
	Studio-Mix	●						
	TV Logic	●						
	All Ch St	●						

- 再生するソースのサンプリング周波数が96kHzのときは、サラウンドモードは「Stereo」のみとなります。

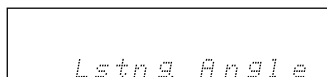
リスニングアングルを調整する

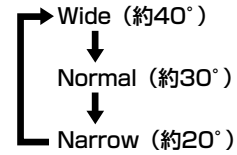
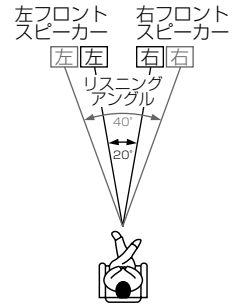
Theater-Dimensional（シアターディメンショナル）は2つまたは3つのスピーカーでマルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。
このモードは、左右それぞれの耳に届く音の特性を制御することによって実現していますので、もっともその効果を体験できる視聴位置（スイートスポット）が存在します。
最適なシアターディメンショナル効果を得るために、リスニングアングルの調整を行ってください。
リスニングアングルとは、視聴者から見た左右フロントスピーカーに対する角度です。

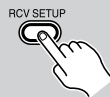
1

STEREO/T-D（ステレオ/シアターディメンショナル）ボタンを押して、サラウンドモードを「シアターディメンショナル」にする

2

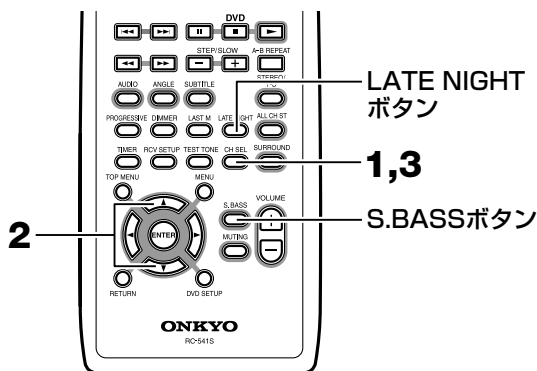
RCV SETUP（レシーバー セットアップ）ボタンを押す

Lstng Angle

3

▲ / ▼ボタンでアングルを調整する

反射音が大きい部屋ですとまれに期待した効果が得られない場合もありますので、できるだけ反射音の少ない環境にすることをおすすめします。

左と右のスピーカーが離れるほど、視聴者との角度が広がります。

4

RCV SETUP ボタンを押す

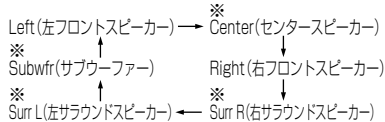
リスニングアングルが記憶され、通常の表示に戻ります。

サラウンドを楽しむ

一時的に各スピーカーレベルを調整する

一時的に各スピーカーのレベルをお好みに調整することができます。

- この設定は、本機をスタンバイ状態にすると解除されます。
- ミューティング中は調整できません。

1

CH SELボタンを（くり返し）押し、音量レベルを調整するスピーカーを選ぶ

※は、別売のUWA-7を増設しているときに表示されます。
お買い上げ時は、UWA-7に合わせたレベルに設定されています。

2

▲ / ▼ボタンを押して、各スピーカーの音量レベルを調整する

▲ボタンを押すと音量が上がり、▼ボタンを押すと下がります。
－12dB～＋12dBの範囲で設定できます。

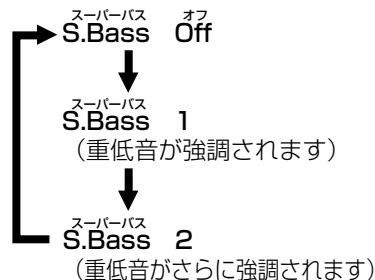
3

CH SEL ボタンを押す

スタンバイ状態にしても、調整した値を記憶させておくにはTEST TONEボタンを押してください。

重低音を強調する

S.BASS ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

ご注意

UWA-7と組み合わせて使用しているときは、あまり効果が得られないことがあります。
その場合は、サブウーファーの音量レベルを調整すると重低音が強調されます。（☞95ページ）

レイトナイト機能を使う（DOLBY DIGITALソフト再生時のみ）

ドルビーデジタル録音されたソフトを再生するとき、ダイナミックレンジ（音量の大小幅）を小さくします。夜中などに音量を絞って映画を鑑賞するとき、小さな音も聞こえやすくなります。
この機能は、本機をスタンバイ状態にすると解除されます。

LATE NIGHT ボタンを押す

押すたびに2段階のレイトナイトモード(High/Low)とOffを切り換えることができます。HighにするとLowよりさらに効果があります。

ご注意

- レイトナイト機能は、ドルビーデジタルソフトにのみ効果があります。
- レイトナイト効果は、ソフトによっては効果が少なかったり、効果がない場合もあります。

録音方法の種類

●CDダビング ‥‥ CD DUBBING（ダビング）ボタンを使って本機CDからMDに録音する
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MDに曲番は自動でつきます。
- DLAリンク…自動で最適な録音レベルに調整します。

●シンクロ録音 ‥‥ オンキヨー製外部機器からMDに録音する
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

●シグナル シンクロ録音 ‥‥‥‥ その他の外部機器からMDに録音する
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

録音に関するご注意
- DVDの映像はコピーできません。
- DVDの音声（ドルビーデジタル、DTS信号などや96kHz信号）をデジタル録音することはできません。
- 音楽用DVDによく使用されているPCM信号で、コピーガードの入っていない信号のみデジタル録音ができます。
- DTS信号をアナログ録音しないでください。

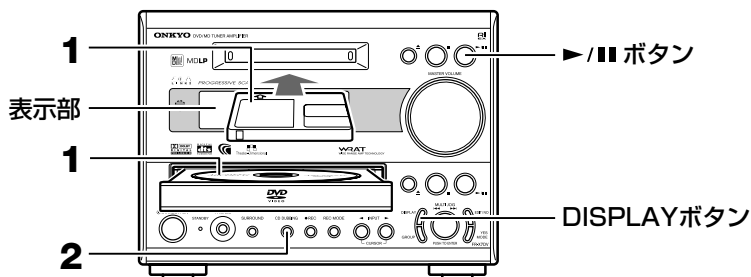
こんな録音はどうするの？	この機能を使うと便利です	
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	CDダビング	56ページ
今聞いている曲だけを録音したい	トラック指定CDダビング	57ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	57ページ
グループを作りながら録音をしたい	MDグループダビング	58ページ
FM/AM放送を録音したい	FM/AM放送をMDに録音する	59ページ
オンキヨー製カセットテープデッキやCDレコーダーからMDに録音したい	シンクロ録音	60ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	シグナルシンクロ録音	61ページ
MDLPを使ってたくさんの曲を1枚のMDに入れたい	録音モードを切り換える	62ページ
録音レベルを調整したい	録音レベルを調整する	63ページ
レベルシンクを切り換えたい	レベルシンクを切り換える	64ページ
MDの最後をフェードアウトさせたい	フェードアウトダビング	58ページ
CDからMDにアナログで録音したい	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	63ページ 60ページ
DVDの音声をMDに録音したい	アナログ入力録音に設定し、 シグナルシンクロ録音をする	63ページ 61ページ
MP3をMDに録音したい	シグナルシンクロ録音をする	61ページ

CDをMDに録音する（CDダビング）

- DLA LINKが働くワンタッチデジタル録音です。
- 曲番は自動でつきます。

ご注意

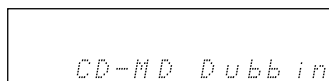
CDがRANDOM再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

1

CD と MD をセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

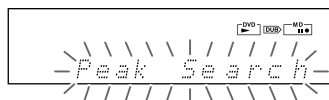
入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

2

CD DUBBING ボタンを押す

CD-MD Dubbin

“CD-MD Dubbing”がスクロールします。

<DLAリンク>

CDはピークサーチ（最大レベルの検出）を高速で行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。

<録音開始>

その後、録音を開始します。

<録音停止>

CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの▶ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

！ヒント

DLA LINKはディスクによって2分以上かかることがあります。

CD ダビング中のご注意

▶/❚❚、▲ などのボタンは働きません。

CDをMDに録音する(いろいろなCDダビング)

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶DVDのトレイにCDをセットする

❷MDをセットする

❸DVDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して再生を始める

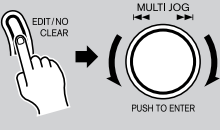
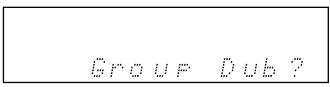
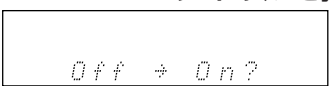
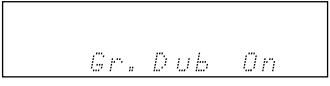
❹CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す
高速でピークサーチを行い、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

CDがRANDOM（ランダム）再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力をCDにしたあといろいろな再生の設定をする
MEMORY（メモリー）再生（37ページ）、REPEAT（リピート）再生（39ページ）の設定をします。（設定と選曲のみで、再生はしません。再生するとトラック指定CDダビングになります。）

❷CD DUBBINGボタンを押す
高速でピークサーチを行い、その後録音が始まります。

CDを1曲だけREPEAT再生モードで録音すると曲番がつかない場合があります。

CDをMDに録音する(いろいろなCDダビング)

MDグループダビング　録音を開始する前に設定します　入力がMDで停止中

CDダビング時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Group Dub?」を表示する

Group Dub ?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でグループダビングモードにしますか？の意味です。

3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

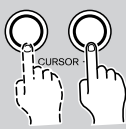
Gr.Dub On

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

！ヒント

CDダビング中にGROUPボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

MDグループ機能については、65ページをご覧ください。

フェードアウトダビング　録音を開始する前に設定します　入力がMDで停止中

CDダビング、トラック指定CDダビング時、最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Fade Dub?」を表示させる

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。
この場合は「Off→On？」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

3

MULTI JOG ダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

！ヒント

CDダビング中にCD DUBBINGボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞62ページ）を切り換えて使うと便利です。

1	MD をセットする
2	INPUT（インプット）◀/▶ボタンを(くり返し)押して、入力を「FM」または「AM」にする
3	MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ
4	● REC（レック） ボタンを押して、録音待機状態にする
5 (MD 側)	MD の ▶/❚❚（プレイ/ポーズ） ボタンを押して、録音を始める

1

MD をセットする

2

INPUT（インプット）◀/▶ボタンを(くり返し)押して、入力を「FM」または「AM」にする

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ

4

● REC（レック） ボタンを押して、録音待機状態にする

録音レベルを調節するときは

☞63 ページ

レベルシンクのオン、オフを切り換えるときは

「曲番をつける－レベルシンクを切り換える」（☞64 ページ）

5

（MD 側）

MD の ▶/❚❚（プレイ/ポーズ） ボタンを押して、録音を始める

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。
途中で止めるときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの▶（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止するには

MDの▶/❚❚ボタンを押します。
もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで● RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

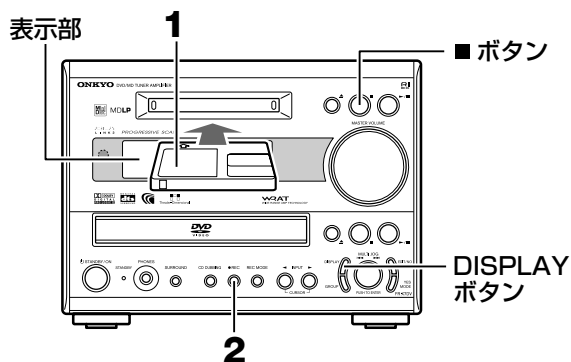
オンキヨー製品から録音する(シンクロ録音)

- **オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。**
- **本機のCDからMDへ選曲しながら録音するにも便利です。**

別売のオンキヨー製カセットテープデッキまたはCDレコーダーを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

- CDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音
- MDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音
- カセットテープやCDレコーダーからMDへのシンクロ録音

CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。
CDレコーダーへの録音方法は、CDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

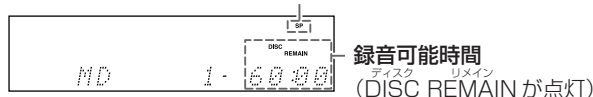
ここではカセットテープデッキから本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

1

録音するソース(接続したカセットテープ)と MD をセットする

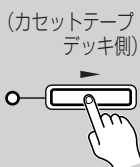
MDの録音可能な残り時間を確認するには

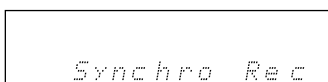
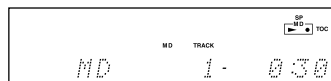
入力をMDにして、DISPLAY(ディスプレイ)ボタンを(くり返し)押してください。

録音可能時間
(DISC(ディスク) REMAIN(リメイン) が点灯)

2

● REC(レック) ボタンを押して、録音待機状態にする

3

(カセットテープデッキ側)

録音するソース(接続したカセットテープ)を再生する

Synchro Rec

録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース(接続しているカセットテープ)を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの▶/❙❙(プレイ/ポーズ)ボタンまたはリモコンのMDの▶(プレイ)ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。ただし、MDの■(ストップ)ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで● RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い(約4秒以下)と、曲番がつかないことがあります。

外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器からMDに録音します。

デジタル録音について

本機はサンプリング・レート・コンバーターが搭載されていますので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DATや衛星放送など）からのデジタル信号（32kHzや48kHz）も録音することができます。

表示部　1　■ボタン　5 ►/❚❚ボタン　2　3

1

MDをセットする

2

INPUT◄/► ボタンを（くり返し）押して、録音する外部機器を選ぶ

TAPE、LINE、DIGITALのいずれかを選びます。

LINE

！ヒント

名称を変えると、その名称が表示されます。（☞97ページ）

3

●RECボタンを押して、録音待機状態にする

！ヒント

外部デジタル入力の場合、「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

4

外部機器の再生を始める

外部デジタル入力で録音レベルを調整すると、モニター音も変化します。

5（MD側）

MDの►/❚❚ボタンを押して、録音を始める

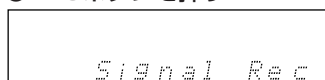
MDの最後まで録音すると自動的に停止します。

途中で止めるときは、MDの■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶左項の手順1〜3を行う

通常の録音待機状態になっています。

❷●RECボタンを押す

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。

❸外部機器の再生を始める

外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。

（☞左項の手順 **5**を行う必要はありません。）

録音レベルを調節するときは

☞63ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞64ページの同項目。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

MDの►/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの►ボタンを押します。

録音を始めたところから再生が始まります。

録音の設定

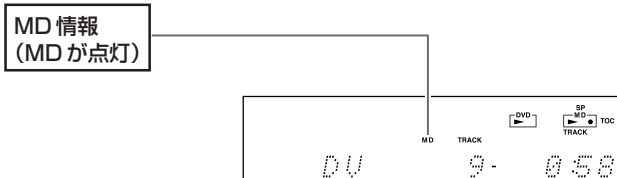
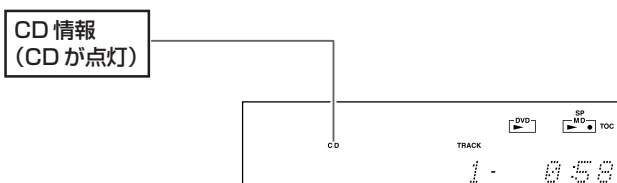
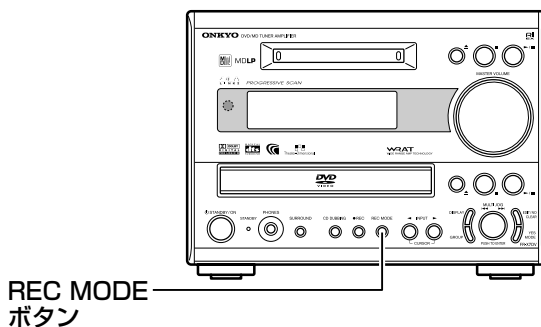
録音中に表示を切り換える　CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。

INPUT（インプット）◀/▶ ボタンを押して、CDとMDの表示を切り換えることができます。

INPUTをMDにしたとき

MD 情報
（MD が点灯）

INPUTをDVDにしたとき

CD 情報
（CD が点灯）

録音モードを切り換える（MDLP）　録音を開始する前に設定します。　MDが停止中

REC MODE
ボタン

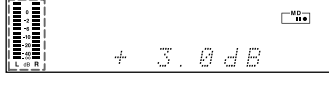
REC MODE

REC（レック） MODE（モード） ボタンを押すたびに、以下の順で切り換わります

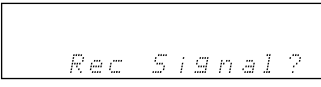
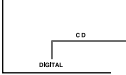
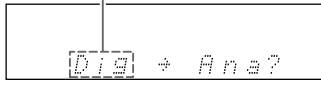
SP　：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。

LP2　：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

LP4　：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。

Mono（モノ）　：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

ご注意

LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

録音レベルを調整する

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。
シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。DLA LINKが働くCDダビング時には調整できません。録音するソースを再生した後、●RECボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。
アナログ、デジタルそれぞれの入力で調整することができます。

1

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Rec Level?」(録音レベル)を表示させる

2

MULTI JOGダイヤルを押す

3

MULTI JOG ダイヤルを回して録音レベル(Rec Level)を調節する

赤いバーが点灯しないように調整する

調節できる範囲は−∞dBから+18.0dBです。
−12.5dBから+18.0dBの範囲では0.5dB間隔で、−12.5dBから−30.0dBは2.5dB間隔、−30dBから−60dBは5.0dB間隔で調整できます。

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、調整が完了します。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

入力がCDでMD/CDが停止中

DVD部からMDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。DVDやデジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。

1

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、「Rec Signal?」を表示させる

!ヒント

CD表示のときに"DIGITAL"が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

デジタル点灯時は、デジタル入力録音

2

YES/MODE ボタンを押す

現在の録音入力設定

3

現在の設定を変更しない場合はEDIT/NO/CLEARボタンを押す
変更する場合はYES/MODEボタンを押す

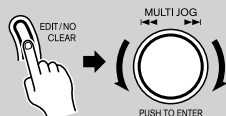
「Dig→Ana?」と表示されたとき、YES/MODEボタンを押すとアナログ入力録音となり、「Ana→Dig?」と表示されたとき、YES/MODEボタンを押すとデジタル録音となります。

CDを取り出すか、またはCD DUBBINGボタンを押すと設定がデジタルに戻ります。

録音の設定

曲番をつける－レベルシンクを切り換える 入力がMDで停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短かすぎるとつかないことがあります。）
- CDダビング、トラック指定CDダビングのときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所で●RECボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が60秒以上続いた場合、自動的に録音待機状態になります。
- LEVEL-SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにするとLEVEL-SYNC表示は消えます。）

LEVEL-SYNC 表示

LEVEL-SYNC

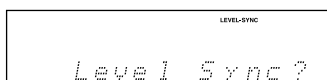
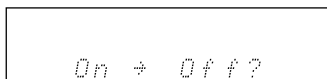
1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Level Sync?」を表示する

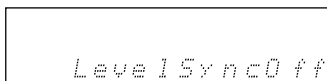
LEVEL-SYNC
Level Sync?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

On → Off?

「On→Off?」、または「Off→On?」が表示されます。

3

MULTI JOGダイヤルを押す

LevelSyncOff

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

MDグループ機能（MDグループを作成/解除する）

1 GR、MEMORY、RAMDOMが点灯していると編集できません。通常再生モードにしてください。

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目～15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲をまとめて新規のグループに入れます。

1

MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

GROUP　TRACK
`** 1 4 24`

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「○○Tr Gr. Set?」を表示させる

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

`1Tr-8Tr ?`

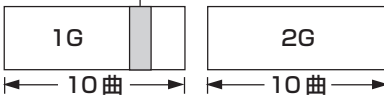
5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、グループが作成されます。

グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲をすでにあるグループに入れます。

1

MULTI JOG ダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr Gr. In?」を表示させる

`14Tr Gr. In ?`

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

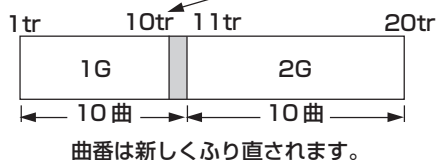
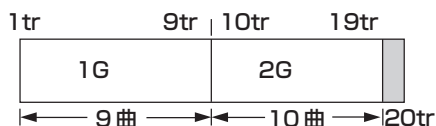
MULTI JOG ダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

`14Tr-1G ?`

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループの最後に入ります。

曲番は新しくふり直されます。

MDグループ機能（MDグループを作成/解除する）

グループアウト　入力がMDで停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1 MULTI JOG ダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「○○ Tr Gr.Out?」を表示させる

3Tr Gr.Out?

3 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだ曲がグループから外れます。

全グループの解除　入力がMDで停止中

ディスクに入っているすべてのグループを解除します。

1 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Gr. Release?」を表示させる

Gr.Release?

2 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、すべてのグループが解除されます。

選択グループの解除　入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1 GROUP ボタンを押す

2 MULTI JOG ダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

1 6 29:19

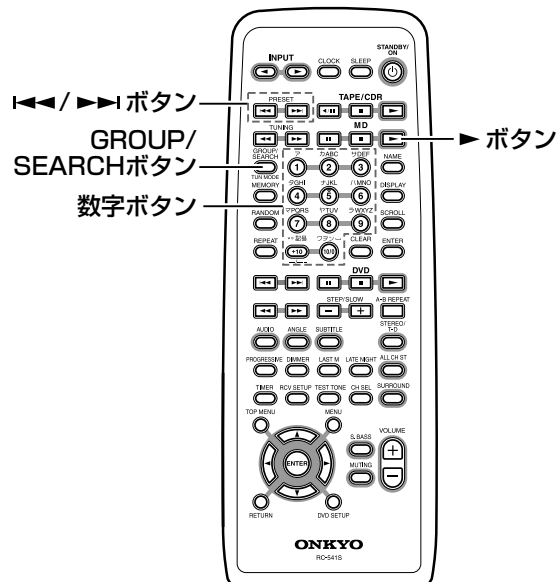
3 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「○○ G Release?」を表示させる

1G Release?

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループのみ解除されます。

MDグループ機能（MDグループを再生する）

ディスクにグループを作成しておく必要があります。（☞65ページ）

MDグループ再生

選択したグループから最後までを再生します。

1

GROUP ボタンを押す

2

数字ボタンを押して、再生したいグループを選ぶ

再生が始まります。

- 本体では、MULTI JOGダイヤルを回して、グループ番号を選びます。
- 本体では、MULTI JOGダイヤルを押すと再生が始まります。

MD1グループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループのみ再生します。

1

GROUP ボタンを押す

2

YES/MODEボタンをくり返し押して、「1GR」モードを選ぶ

（この操作は本体でしかできません）

3

リモコン左上のPRESET◀◀/▶▶ボタンを押して、グループを選ぶ

- 本体では、MULTI JOGダイヤルを回して、グループ番号を選びます。

4

MD の► ボタンを押す

再生が始まります。

- 本体では、MULTI JOGダイヤルを押します。
- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

MDグループスキップ

再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1

再生中にGROUPボタンを押す

2

リモコン左上のPRESET◀◀/▶▶ ボタンを押して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

- 本体では、MULTI JOGダイヤルを押して、グループを選びます。

MDグループ機能（MDグループを編集する）

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

編集の組み合わせ

離れた2つのグループをつなぐ

（G.Move＋G.Combine）
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、102ページ）
- MEMORYまたは、RANDOM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

指定したグループ内の曲を消す－G.Erase　入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して消すグループを選ぶ

GROUP　TRACK
2　2　3:16

3

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?」を表示する

2G　Erase ?

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

2G　Erase ??

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

5

MULTI JOG ダイヤルを押す

TOC
Complete

グループ内の曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの削除

グループ番号のふり直し

グループを移動する－G.Move

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

2G Move?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

2G→1G?

このグループ番号になります。

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

2G→4G?

6

MULTI JOGダイヤルを押す

TOC
Complete

指定した曲が移動し、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの移動

グループ番号のふり直し

1	2	3	4	5

MDグループ機能（MDグループを編集する）

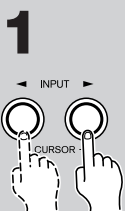
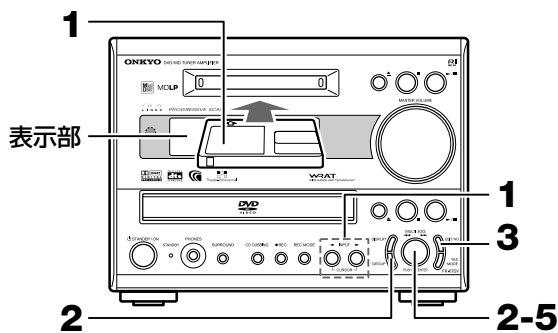
グループをつなぐ ーG.Combine

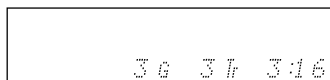
入力がMDで停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

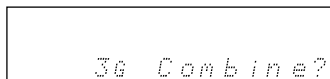
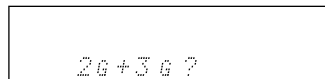
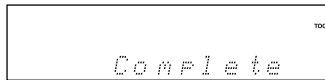
1

MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

3G 3Tr 3:16

選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Combine?」を表示する

3G Combine?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

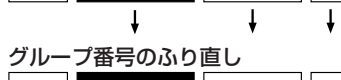
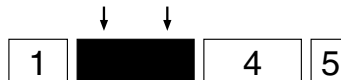
2G+3G?

5

MULTI JOGダイヤルを押す

Complete

グループがつながり、「Complete」（完了）が表示されます。

グループ番号は新たにふり直されます。

FM/AMのプリセットチャンネルを編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

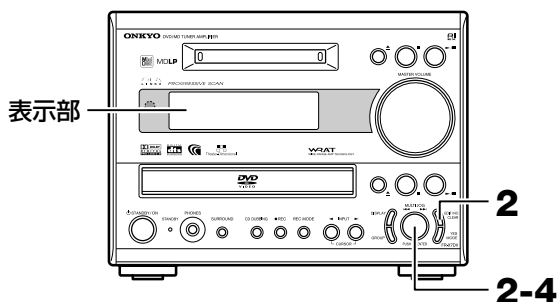
プリセットチャンネル編集のヒント

チャンネル番号を変更する

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルにオートプリセットされた放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、

❶4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷4チャンネルを削除する。

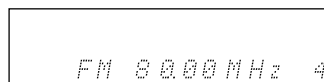
という手順で行うことができます。

プリセットチャンネルを削除する

1

FMまたはAMの、削除するプリセットチャンネルを呼び出す

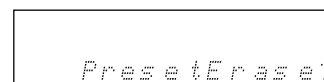
例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

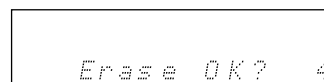
2

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回し「Preset Erase?」を表示する

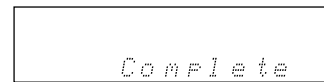
PresetErase?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のメッセージが表示されます。

Erase OK? 4

削除をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

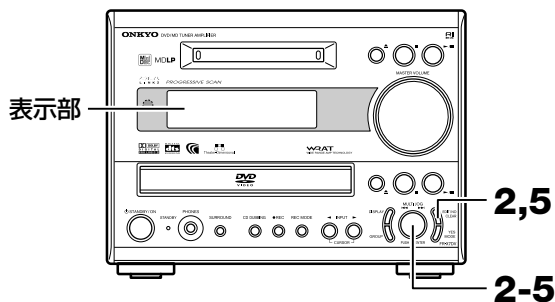
4

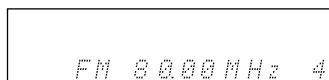
MULTI JOGダイヤルを押す

Complete

プリセットチャンネルが削除され、「Complete」(完了)が表示されます。

FM/AMのプリセットチャンネルを編集する

プリセットチャンネルをコピーする

プリセットチャンネルをコピーすると、プリセットチャンネルにつけた名前（☞78ページ）も同時にコピーされます。

1

FMまたはAMの、コピーするプリセットチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

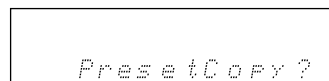
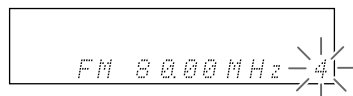
FM 80.00MHz 4

2

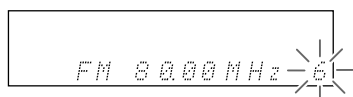
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット） Copy?（コピー?）」を表示する

3

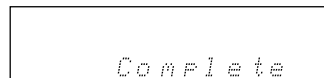
MULTI JOG ダイヤルを押す

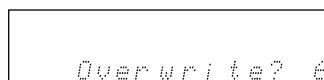
4

MULTI JOG ダイヤルを回してコピー先のプリセットチャンネルを選ぶ

FM 80.00MHz 6

5

MULTI JOG ダイヤル押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局が指定のチャンネルにコピーされました。

「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

EDIT/NO CLEAR

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MULTI JOGダイヤルを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

MDを編集する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。（BLANK DISCになります。）

曲を消去する－Erase
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
（Divide ＋ Erase）
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
（Move ＋ Combine）
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combineについてのご注意

Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：MONOモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません）
デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

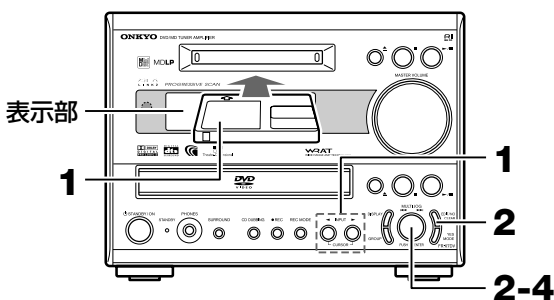
編集／消去についてのご注意

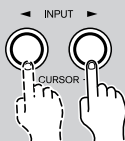
- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、102ページ）
- MEMORYまたは、RANDOM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。
- グループを作成したMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲消去する－All Erase

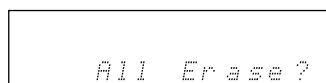
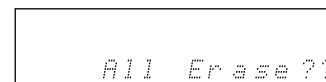
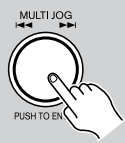
入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MD をセットして、入力を MD にする

2

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「All Erase?」（MD の録音をすべて消しますか?）を表示する

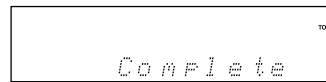
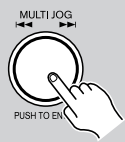
All Erase?

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

All Erase??

再確認のため、「All Erase??」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

TOC
Complete

曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。

MDを編集する

1曲選んで消す－Erase（イレーズ）

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して消す曲を選ぶ

3

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?（イレーズ?）」を表示する

4

MULTI JOGダイヤルを押す

曲が消され、「Complete（コンプリート）」(完了)が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

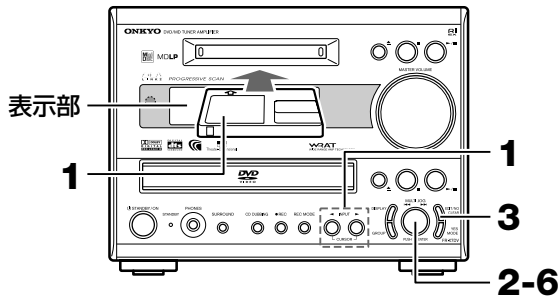
曲を移動する－Move（ムーブ）

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

3

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?（ムーブ?）」を表示する

4

MULTI JOGダイヤルを押す

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

5

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える

6

MULTI JOGダイヤルを押す

指定した曲が移動し、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

グループのあるMDの曲を移動したときは

曲が所属するグループが変わる場合があります。

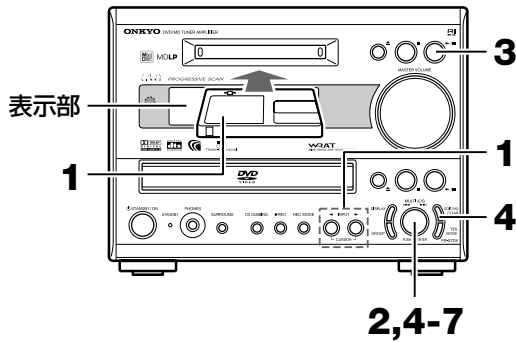
例：

15曲目は6曲目に移動するため、2G（グループ）から1G（グループ）に変わります。

MDを編集する

曲を分ける－Divide（ディバイド）

入力がMDで再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞78ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回してから押し、分ける曲を再生する

リモコン左上のTUNING（チューニング）◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

3 分けたいところでMDの▶/II（プレイ／ポーズ）ボタンを押す

一時停止になります。

4 EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Divide?（ディバイド）」を表示する

2Tr Divide?

5 MULTI JOGダイヤルを押す

Rehearsal（リハーサル）再生
約４秒間

分かれる位置

「Rehearsal（リハーサル）」（確認再生中）と「Position（ポジション） OK?（オーケー?）」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

6 音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値－45～+45（REC（レック） MODE（モード）がSP時 ± 約3秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

7 MULTI JOGダイヤルを押す

TOC
Complete

曲が2つに分かれ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

曲の分割

1	2		3	4
1			3	4

曲番のふり直し

1	2	3	4	5

曲をつなぐ －Combine（コンバイン）

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

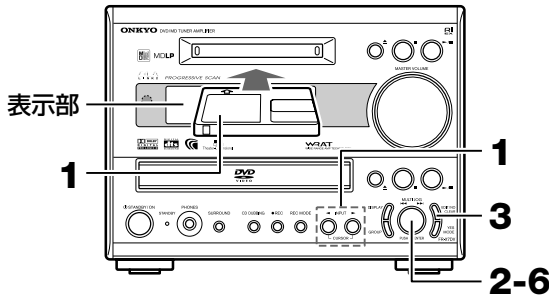
- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

MD　3Tr　3:16

選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。

3

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Combine?（コンバイン?）」を表示する

4

MULTI JOGダイヤルを押す

2Tr+3Tr?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal（リハーサル）」（確認再生中）と「Track（トラック） OK?（オーケー?）」（つないでいいですか?）が交互に表示され、曲のつなぎめの前後合計約8秒間がくり返し再生されます。

6

MULTI JOGダイヤルを押す

TOC
Complete

曲がつながり、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

グループのあるMDの曲をつないだときは
つないだ曲のグループに入ります。

MD、プリセットチャンネルに名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMのプリセットチャンネルにはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。

MDにディスク名や曲名をつける

最大100文字までの名前がつけられます。
❶MDをセットし、入力をMDにします。
❷ディスクに名前をつけたいときはそのまま、曲に名前をつけたいときは、曲を選んでください。
❸「文字を入力する」右項を行います。

MDのグループに名前をつける

❶MDをセットし、入力をMDにします。
❷GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して名前をつけるグループを選びます。
❸「文字を入力する」(右項)を行います。

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。(☞102ページ)
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MDの■ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は入力をMDに切り換えてから文字を入力してください。

MD 表示

- MEMORY、RANDOM、1GRの表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分(TOC)に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。(☞「TOC表示が点灯、点滅しているときは」、102ページ)

プリセットチャンネルに名前をつける

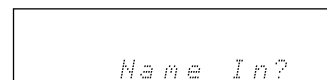
FMまたはAMのプリセットチャンネルを選び、「文字を入力する」(右項)を行います。
8文字までの名前がつけられます。

本体操作ボタンで文字を入力する

1

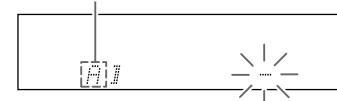
EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name In?」を表示する

Name In?

2

MULTI JOGダイヤルを押す
文字入力モードに入ります。

3

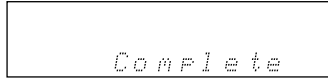
DISPLAY ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ
押すたびに、以下の選択ができます。

文字の種類の表示

→A(大文字のアルファベット)※1
↓
a(小文字のアルファベット)※1
↓
1(数字)※1
↓
ア(カタカナ)※1
↓
♪(カンタンネーム)※2

※1 ☞「入力できる文字」(次ページ)
※2 プリセットチャンネルのネーム入力時には表示されません。
☞「カンタンネームについて」(次ページ)

4

MULTI JOG ダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する
この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順**3**を行います。

5 入力が終わったら、YES/MODEボタンを押す

Complete

「Complete」が表示され、文字入力が完了します。
名前の入力を途中でやめるときはEDIT/NO/CLEARボタンを2秒以上押します。

入力できる文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣（空白） M（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

カンタンネームについて（MDのみ）
以下のようなネームが用意されています。文字を選ぶのと同じ要領で下記の中から選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	[ofの後ろには空白(␣)が１文字分入ります。]	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 **1**と **2** を行ってください。

❶**本体のINPUT◄/►ボタンまたはリモコン左上のTUNING◄◄/►►ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷● **訂正するときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 3、4 にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、EDIT/NO/CLEARボタンまたは、リモコンのCLEARボタンを押す**

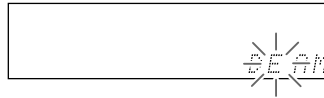
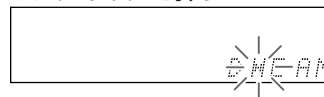
ご注意

EDIT/NO/**CLEAR**ボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。

続けて文字を挿入する場合は前ページ手順 **3**、**4**を、終わるときは手順 **5**を行います。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 **1** と **2** を行ってください。

❶**本体のINPUT◄/►ボタンまたはリモコン左上のTUNING◄◄/►►ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷**MULTI JOGダイヤルを左に回して「M」を表示し、ダイヤルを押す**

❸**「文字を入力する」の手順 3、4 にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は前ページ手順 **3**、**4** を、終るときは手順 **5** を行います。

プリセットチャンネルにつけた名前を消去する

❶**入力をAMまたはFMにする**

❷**MULTI JOGダイヤルを回して名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ**

❸**EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させる**

❹**MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

MD、プリセットチャンネルに名前をつける

リモコンで文字を入力する

1

NAME(ネーム)ボタンを押す

2

DISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLL(スクロール)ボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコン中央部右側のENTER(エンター)ボタンを押してください。

数字を入力するには

数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。

たとえば、①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコン中央部右側のENTERボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（MDのみ）

数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、③ボタンは押すごとにDANCE(ダンス)→Euro(ユーロ)→Favorite(フェイバリット)→FUSION(フュージョン)などと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコン中央部右側のENTERボタンを押してください。

記号を入力するには

(+10)ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（(+10)ボタンは、␣./ ∗-,!?&' ()(10/0)ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコン中央部右側のENTERボタンを押してください。

リモコン左上のPRESET(プリセット)▮◀◀または▶▶▮ボタンを押して文字を選び、リモコン中央部右側のENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。

文字を挿入するときの「▯」や、その他記号の入力は、リモコン左上のPRESET▮◀◀または▶▶▮ボタンを押して選んでください。

3

NAMEボタンを押して入力を終了する

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。
（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）

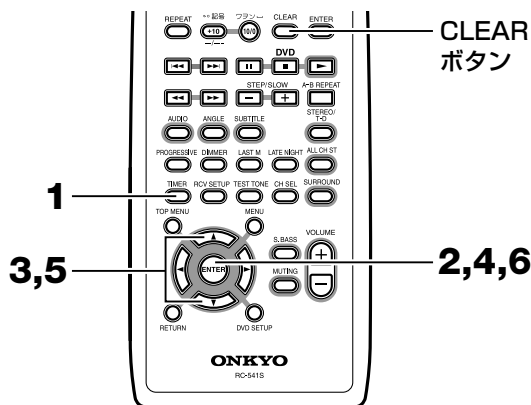
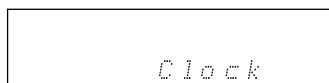
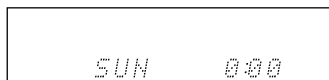
1

TIMERボタンを（くり返し）押して、「Clock」を表示させる

Clock

2

ENTERボタンを押す

SUN　0:00

曜日入力に入ります。

3

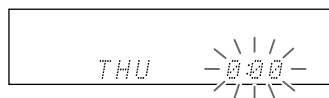
▲/▼ボタンで、今日の曜日を選ぶ

SUN　0:00

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

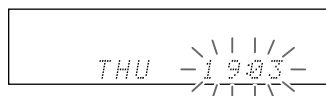
4

ENTERボタンを押して、曜日を確定する

THU　0:00

時間入力に入ります。

5

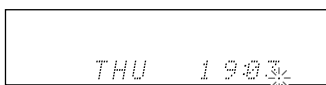
▲/▼ボタンで、時刻をあわせる

THU　19:03

数字ボタンでも設定できます。
19:03の場合は、「1」「9」「0」「3」と押します。

- am/pm表示のときは、--/---ボタンでamとpmが切り換わります。

6

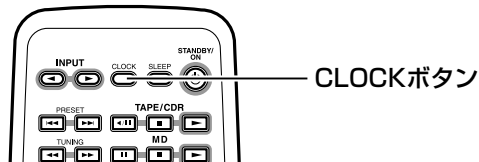
時報に合わせてENTERボタンを押す

THU　19:03

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

TIMERボタンを押す。

時刻、曜日を表示させる

CLOCKボタンを押します。
再度CLOCKボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

タイマー機能を使う

Sleep（スリープ）タイマー、Once（ワンス）タイマー、Every（エブリィ）タイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPlay（プレイ）（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（レック）（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機のMD、または本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

演奏機器の設定

AM、FM、 DVD(DVDトレイに音楽用CDを入れた場合のみ)、MDまたは本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、タイマー機能のある外部機器が選択できます。(表示名称を正しく設定する必要があります。)

タイマーRec（録音）はFM、AM、またはLINE（ライン）、DIGITAL（デジタル）に接続したタイマー機能のある外部機器から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Once（ワンス）タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every（エブリィ）タイマー」があります。
また、Everyタイマーには「Everyday（エブリデイ）（毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer（タイマー） 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマーPlay(再生)—Every—Everyday(毎日)—7:00〜7:30

Timer（タイマー） 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマーRec(録音)—Every—MON（マンデー）(月曜日)〜SAT（サタデー）(土曜日)—15:10〜15:30

Timer（タイマー） 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマーRec(録音)—Once—SUN（サンデー）(日曜日)—10:00〜12:00

ご注意

- タイマー再生中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、TIMER（タイマー）表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

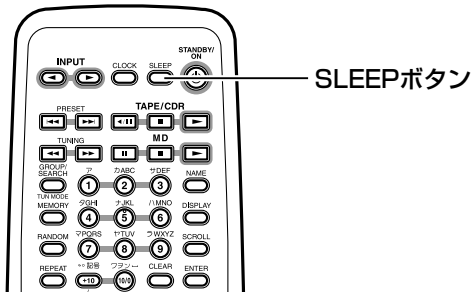
- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

Timer（タイマー） 1　9：00　–10：00
Timer（タイマー） 2　8：00　–10：00
　↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)
Timer（タイマー） 3　12：00　–13：00
　↑ 優先（タイマー番号が早い方）
Timer（タイマー） 4　12：00　–12：30

Sleep（スリープ）タイマーについて

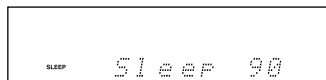
設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

Sleepタイマーを使う

10分単位の時間設定が可能です。

SLEEPボタンを押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

SLEEP　Sleep 90

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。

この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

タイマー機能を使う

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。(☞46ページ)

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です。

1

TIMER

ENTER

<タイマー番号の選択>

Timer 1

TIMERボタンを(くり返し)押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

2

ENTER

<タイマー種類の選択>

Play

または

Rec

▲/▼ボタンを押して、タイマーPlay(再生)またはタイマーRec(録音)を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。タイマーRecは本機MDまたは本機に接続しているテープデッキに録音されます。

3

ENTER

<演奏機器の選択>

FMまたはAMを選んだ場合

FM 8510MHz 2

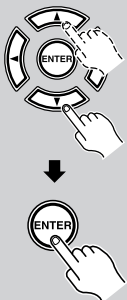
▲/▼ボタンを押して、演奏する機器を選ぶ

演奏する機器が表示されたらENTERボタンを押します。

タイマーRec(録音)の時はFM、AM、LINE、DIGITALの中から選べます。

▲/▼ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ

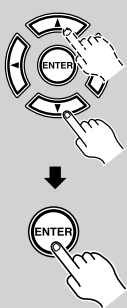
プリセット番号が表示されたらENTERボタンを押します。

4

＜録音機器の選択＞（タイマーRec（レック）設定時のみ）

FM → MD

▲/▼ボタンを押して、録音する機器を選ぶ

録音する機器が表示されたらENTER（エンター）ボタンを押します。

5

＜曜日の設定＞

Every

▲/▼ボタンを押して、“Once（ワンス）”または“Every（エブリイ）”を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます
選んだらENTERボタンを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

SUN

▲/▼ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

▲/▼ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set ［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

「Days（ディズ） Set（セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON−SAT

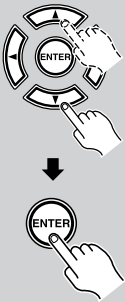
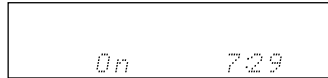
TUE

TUE−SUN

①▲/▼ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ
曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

②▲/▼ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ
曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

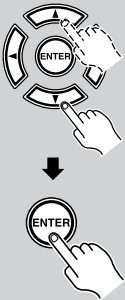
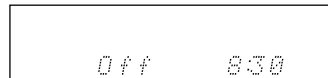
この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。

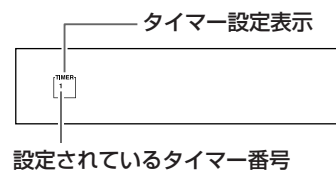
6

<開始時刻の設定>

▲/▼ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

数字ボタンでも設定できます。
時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
7：29を設定するには、0、7、2、9と押します。
- am/pm表示のときは、--/---ボタンでamとpmで切り換わります。

！ヒント

- 開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。
- 本機MDにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

7

<開始時刻の設定>

▲/▼ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

<スタンバイにする>

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

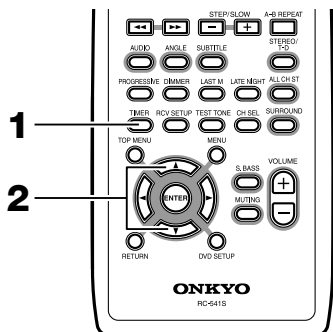
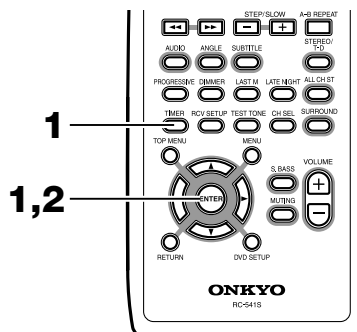
ご注意

- MDのタイマー再生で、MEMORY、RANDOM、1 GRモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマーの音量はスタンバイ状態にする直前の音量と同じになります。あらかじめ音量を調整しておいてください。

タイマー予約をやり直したいときは…

TIMERボタンを押し、最初から設定してください。

タイマーのOn(オン)（実行）/Off(オフ)（取消し）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1 TIMER(タイマー)ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン（実行）で設定されている状態です。

2 ▲/▼ボタンを押して、On(オン)(実行)/Off(オフ)(取消)を切り換える

Timer On

または

Timer Off

切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

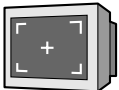
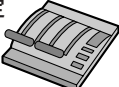
タイマー設定の内容を確認するには

1 TIMERボタンを（くり返し）押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTER(エンター)ボタンを押す

Timer 2

2 ENTERボタンを（くり返し）押して、次の内容を確認する

Play

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中▲/▼ボタンを押して設定内容を変更することもできます。
TIMER(タイマー)設定がOff(オフ)になっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOn(オン)になります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。
通常の表示にするにはTIMERボタンを押します。

DVDの応用設定をする

基本設定より多くの設定をします。設定を変更したいときや、お好みの設定にしたいときに行います。

設定マーク	設定項目	内容	参照ページ
画像	TV画面形状 インターレース画質設定 プログレッシブ画質設定	接続したテレビに合わせて映像の縦横比を選びます。 インターレース出力の画質を調整します。 プログレッシブ出力の画質を調整します。	28 89 90
言語	画面表示言語 ディスクメニュー言語 音声言語 字幕言語	画面表示に使う言語を選びます。 ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。 音声言語を選びます。 字幕言語を選びます。	91 91 91 91
表示	画面表示 画面表示色 背景 スクリーンセーバー	動作状態の画面表示を設定します。 設定画面の背景の色を設定します。 設定画面、ナビゲーターなどのグラフィックや色を変更します。 画面焼き付き防止機能の設定をします。	93 93 93 93
機能設定	静止画 パレンタルロック PBC	一時停止時の画像を調整します。 視聴制限機能の設定をします。 PBC付きビデオCDのメニュー再生を設定します。	94 94 94
基本設定	TV画面形状 画面表示言語	使いはじめに行う設定のグループです。	28 28

応用設定をする

テレビ画面を使ってDVDの応用設定をします。（この機能を再生中に使うことはできません。）テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

リモコンのみの操作です。

1

DVD SETUP（セットアップ） ボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2

▲ / ▼ボタンを押して設定したい設定マークを選ぶ

画像、言語、表示、機能設定、基本設定から選びます。

3

◀/▶ ボタンを押し、▲/▼ボタンを押して設定項目を選ぶ

設定項目を選んだら、ENTER（エンター）ボタンを押します。

4

▲ / ▼ボタンを押して設定したい選択肢にカーソルを合わせる

5

ENTER ボタンを押す

6

DVD SETUP ボタンを押す

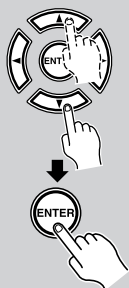
設定が終了し、応用設定画面が消えます。

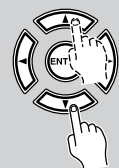
画像設定

テレビのサイズや画質の調整など、画像に関する設定を行います。画質の調整ではインターレース出力またはプログレッシブ出力でそれぞれ3パターンの画質調整値を記憶しておくことができます。例えば、窓から日が差し込む昼用の画質、夜用のカーテンを閉め、部屋の電気の下で見る画質などお好みで調整してください。

■ インターレース画質設定

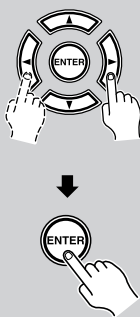
映像の出力方式がインターレース出力時の画質を調整します。(☞20ページ)

1

▲/▼ボタンで「インターレース画質設定 1、2、3」のいずれかを選び、ENTER ボタンを押す

画質設定メニューが表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して画質調整したい項目を選ぶ

ENTERボタンを押します。

3

◀/▶ ボタンを押して調整し、ENTER ボタンを押す

手順**2**、**3**をくり返し、調整したい項目を設定する。

- **コントラスト**：最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。
- **明るさ**：明るさを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。
- **色の濃さ**：色の濃さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。
- **色あい**：色あいを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。
- **シャープネス**：鮮明さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが0〜+8までの範囲で調整できます。
- **肌色補整**：肌色を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。
- **黒レベル**：黒画像の明るさを調整します。お買い上げ時の設定は「標準」ですが、「明るい」も選べます。

！ヒント

この設定はインターレース出力のときのみ効果があります。

4

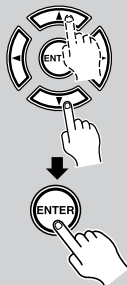
DVD SETUP ボタンを押す

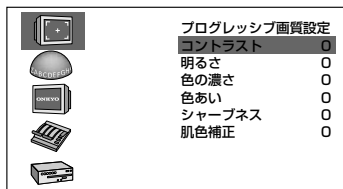
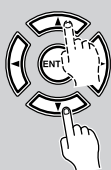
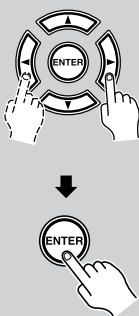
設定が終了し、画質設定画面が消えます。

DVDの応用設定をする

■ プログレッシブ画質設定

映像の出力方式がプログレッシブ出力時の画質を調整します。(☞20ページ)

1

▲/▼ボタンで「プログレッシブ画質設定1、2、3」のいずれかを選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

画質調整メニューが表示されます

2

▲ / ▼ボタンを押して画質調整したい項目を選ぶ

ENTERボタンを押します。

3

◀/▶ ボタンを押して調整し、ENTER ボタンを押す

手順**2**、**3**をくり返し、調整したい項目を設定する。

コントラスト：最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

明るさ：明るさを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色の濃さ：色の濃さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

色あい：色あいを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

シャープネス：鮮明さを設定します。お買い上げ時の設定は「0」ですが0〜+8までの範囲で調整できます。

肌色補整：肌色を調整します。お買い上げ時の設定は「0」ですが−7〜+7までの範囲で調整できます。

！ヒント

この設定はプログレッシブ出力のときのみ効果があります。

4

DVD SETUP(セットアップ) ボタンを押す

設定が終了し、画質設定画面が消えます。

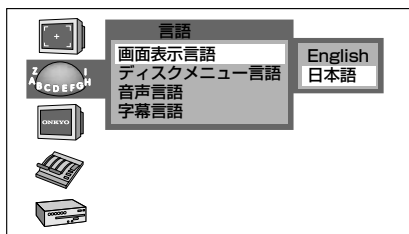
言語設定

DVDの中には、1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お好みで選べる機能を持っているものがあります。ここでは、言語に関する設定を行います。設定画面の操作方法については88ページをご覧ください。

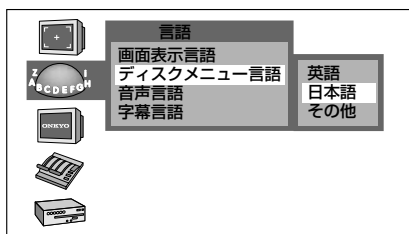
！ヒント

- ディスクによってはディスクメニューから言語を選択できるものがあります。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていないことがあります。その場合はディスク独自の言語が選択されます。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていても設定通りに動作しないことがあります。

■ 画面表示に使う言語を選ぶ

画面表示に使う言語を選びます。

English：英語で表示します。
日本語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）

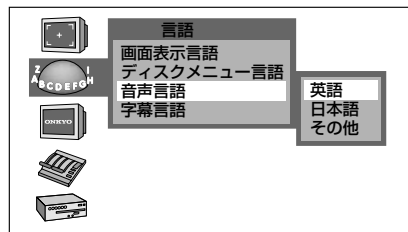
■ ディスクメニュー言語の種類を選ぶ

ディスクメニューに複数の言語が入ったDVDを再生するときに、ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。

英　語：英語で表示します。
日本語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
その他：92ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

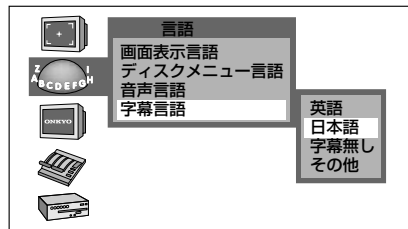
■「その他の言語」を選んだとき

1. **「その他の言語」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す**
   言語コード入力欄が表示されます。
2. **◄/►ボタンを押して入力欄を選ぶ**
3. **▲/▼ボタンを押して言語コードを入力する**
   言語コード表を参照してください。
4. **ENTERボタンを押す**

■ 音声言語の種類を選ぶ

複数の音声言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に再生する音声言語を選びます。

英　語：英語で表示します。
日本語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
その他：92ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

■ 字幕言語の種類を選ぶ

複数の字幕言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に表示する字幕言語を選びます。

英　語：英語で表示します。
日本語：日本語で表示します。（お買い上げ時の設定）
字幕無し：字幕を表示しません。
その他：92ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

■ 言語コード表

言語名	入力コード
日本語	JA
English	EN
French	FR
German	DE
Italian	IT
Spanish	ES
Chinese	ZH
Dutch	NL
Portuguese	PT
Swedish	SV
Russian	RU
Korean	KO
Greek	EL
Afar	AA
Abkhazian	AB
Afrikaans	AF
Amharic	AM
Arabic	AR
Assamese	AS
Aymara	AY
Azerbaijani	AZ
Bashkir	BA
Byelorussian	BE
Bulgarian	BG
Bihari	BH
Bislama	BI
Bengali	BN
Tibetan	BO
Breton	BR
Catalan	CA
Corsican	CO
Czech	CS
Welsh	CY
Danish	DA
Bhutani	DZ
Esperanto	EO
Estonian	ET
Basque	EU
Persian	FA
Finnish	FI
Fiji	FJ
Faroese	FO
Frisian	FY
Irish	GA
Scots-Gaelic	GD
Galician	GL

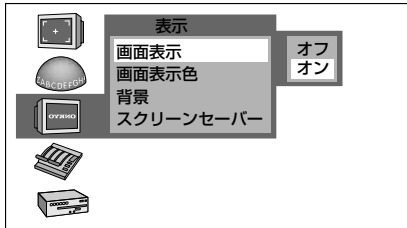
言語名	入力コード
Guarani	GN
Gujarati	GU
Hausa	HA
Hindi	HI
Croatian	HR
Hungarian	HU
Armenian	HY
Interlingua	IA
Interlingue	IE
Inupiak	IK
Indonesian	IN
Icelandic	IS
Hebrew	IW
Yiddish	JI
Javanese	JW
Georgian	KA
Kazakh	KK
Greenlandic	KL
Cambodian	KM
Kannada	KN
Kashmiri	KS
Kurdish	KU
Kirghiz	KY
Latin	LA
Lingala	LN
Laothian	LO
Lithuanian	LT
Latvian	LV
Malagasy	MG
Maori	MI
Macedonian	MK
Malayalam	ML
Mongolian	MN
Moldavian	MO
Marathi	MR
Malay	MS
Maltese	MT
Burmese	MY
Nauru	NA
Nepali	NE
Norwegian	NO
Occitan	OC
Oromo	OM
Oriya	OR
Panjabi	PA
Polish	PL

言語名	入力コード
Pashto, Pushto	PS
Quechua	QU
Rhaeto-Romance	RM
Kirundi	RN
Romanian	RO
Kinyarwanda	RW
Sanskrit	SA
Sindhi	SD
Sangho	SG
Serbo-Croatian	SH
Sinhalese	SI
Slovak	SK
Slovenian	SL
Samoan	SM
Shona	SN
Somali	SO
Albanian	SQ
Serbian	SR
Siswati	SS
Sesotho	ST
Sundanese	SU
Swahili	SW
Tamil	TA
Telugu	TE
Tajik	TG
Thai	TH
Tigrinya	TI
Turkmen	TK
Tagalog	TL
Setswana	TN
Tonga	TO
Turkish	TR
Tsonga	TS
Tatar	TT
Twi	TW
Ukrainian	UK
Urdu	UR
Uzbek	UZ
Vietnamese	VI
Volapük	VO
Wolof	WO
Xhosa	XH
Yoruba	YO
Zulu	ZU

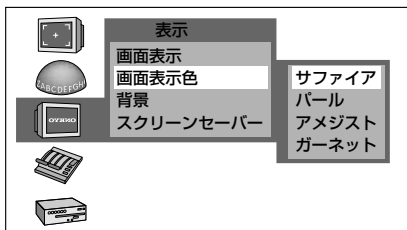
表示設定

表示に関する設定を行います。

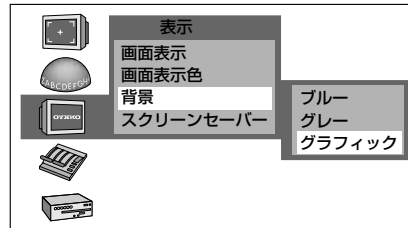
■ 動作状態の画面表示を設定する

DVD再生時の「停止」や「再生」などの動作状態の画面表示をする/しないを設定します。

オン：
表示をしません。
オフ：
表示をします。(お買い上げ時の設定)

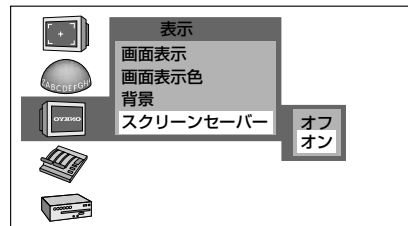
■ 画面表示色を設定する

設定画面の背景の色を設定します。

サファイア：
(お買い上げ時の設定)
パール：
アメジスト：
ガーネット：

■ 背景を設定する

設定画面、ナビゲーターなどのグラフィックや色を設定します。

ブルー：
青色で表示します。
グレー：
灰色で表示します。
グラフィック：
（お買い上げ時の設定）

■ スクリーンセーバーを設定する

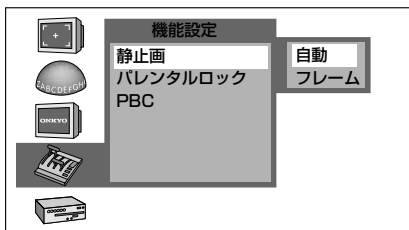
画面焼き付き防止機能の設定をします。

オフ：
スクリーンセーバー機能は働きません。
オン：
スクリーンセーバー機能が働きます（お買い上げ時の設定）

DVDの応用設定をする

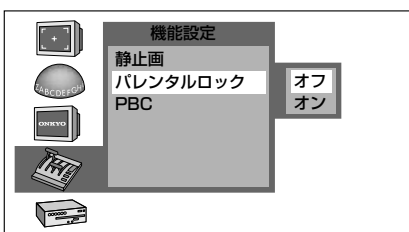
機能設定

機能に関する設定を行います。

■ 静止画を切り換える

一時停止時の画像を調整します。一般に、「フレーム」は高画質ですが、ピントがぼやけることがあります。「フィールド」はフレームと比べて高画質ではありませんが、ぼやけることはありません。

自動：
ディスクによってフィールドとフレームを自動で切り換えます。(お買い上げ時の設定)
フレーム：
通常モードです。

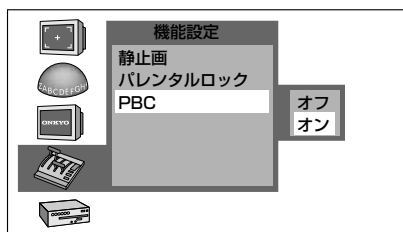
■ パレンタルロックを設定する

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。お子様などに不適切なシーンを視聴させないように本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。

1. **パレンタルロック「オン」を選び、ENTERボタンを押す**
   暗証番号登録の画面が表示されます。
2. **数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す**
   レベル設定の画面が表示されます。
3. **▲/▼ボタンを押してレベルを選び、ENTERボタンを押す**
   視聴制限のレベルが設定されます。
4. **DVD SETUPボタンを押す**
   設定が終了し、設定画面が消えます。

！ヒント

- 停止中にのみ設定の変更ができます。
- 暗証番号を間違えたときはCLEARボタンを押します。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は番号を入力する手順で■ボタンを4回押してください。
- 視聴制限を解除したり、レベルを変更するときは、暗証番号を入れる必要があります。
- 視聴制限に対応してるかどうかは、ディスクのジャケットなどで確認してください。

■ PBCの設定をする

PBC付きビデオCDのメニュー再生を設定します。

オフ：
PBC再生を解除します。
オン：
PBC再生をします。（お買い上げ時の設定）

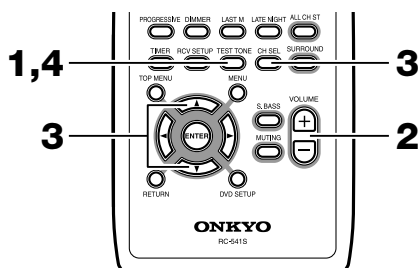
！ヒント

- PBC再生機能はディスクによって異なりますので詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。
- 本機は、ディスクによってビデオCDのPBC再生に対応していないことがあります。

スピーカーの設定をする

スピーカーの音量レベルを調整する

音のバランスを調整するため、各スピーカーからのテストトーンの音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカーの音量を設定します。

1

TEST TONE

TEST TONE ボタンを押す

左フロントスピーカーから「ザー」というテストトーンが出力されます。

2

VOLUME

VOLUME＋/－ボタンで音量を調整する

テスト音は小さめなので良く聞こえる音量に調整してください。

3

CH SEL

CH SEL ボタンでスピーカーを切り換え、▲/▼ボタンでテストトーンを調整する

－12ｄB～+12ｄBの範囲内で調整できます。

UWA-7を増設している場合は

Center、Surr R、Surr L、Subwfrも設定します。お買い上げ時は、UWA-7に合わせたレベルに設定されています。

- サブウーファーを「Off」に設定していると、サブウーファーのテストトーンは出力されません。
- CH SELボタンを押さなくても、2秒経過するとテストトーンは次のスピーカーに移ります。

ご注意

手順 **2** でいつも聞く音量よりも大きくした場合は、VOLUME－ボタンで音量を戻してください。

4

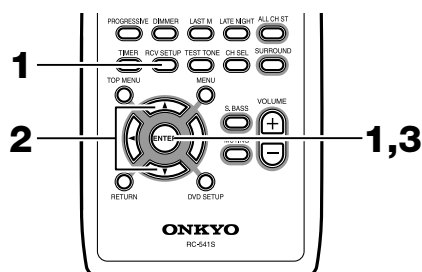
TEST TONE

TEST TONE ボタンを押す

設定が終了します。

スピーカーの距離を設定する

視聴位置からスピーカーまでの距離を設定します。距離を設定することで、それぞれのスピーカーから視聴位置までの音の届く時間を一定にし、映画や音楽をより快適にお楽しみいただけます。この設定は本機をスタンバイ状態にしても記憶しています。

1

RCV SETUP

ENTER

RCV SETUP ボタンを押し、ENTER ボタンを（くり返し）押す

SP Distance

2

▲/▼ボタンで距離を設定する

視聴位置から左右フロントスピーカーまでの距離を設定します。0.3m単位で9.0mまで設定できます。

3

ENTER ボタンを押す

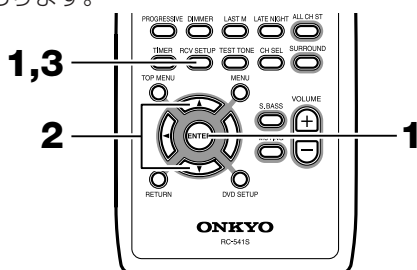
UWA-7を増設している場合はCenter、Surrも設定します。

センタースピーカーはフロントスピーカーより1.5m近い範囲で選択できます。

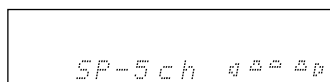
サラウンドスピーカーはフロントスピーカーより4.5m近い範囲で選択できます。

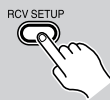
スピーカーの設定をする

スピーカーの数を設定する

本機は2つのフロントスピーカーに加えて別売りのUWA-7を増設すると、より本格的なホームシアターもお楽しみいただけます。
UWA-7を接続すると本機は自動的にスピーカーが5個とサブウーファーが接続されていることを認識します。スピーカーの数を変更した場合は、組み合わせるスピーカーの数によってサラウンド効果が変わるため、接続しているスピーカーの数を設定する必要があります。

1 RCV SETUP ボタンを押し、ENTERボタンを（くり返し）押す

「SP 2ch」と表示されます

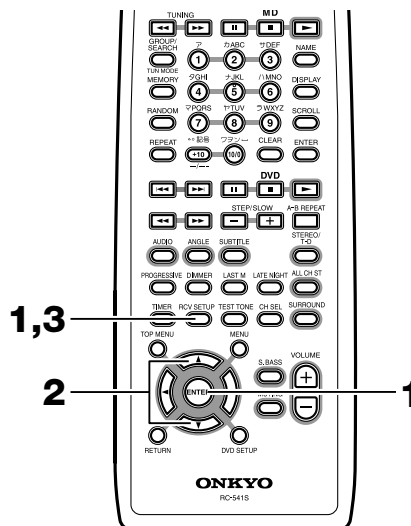
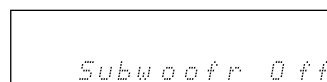
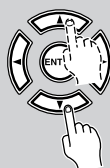
SP-5ch

2 ▲ / ▼ボタンを（くり返し）押して、接続しているスピーカーの数を選択する

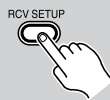
2ch　左右フロントスピーカーのみ
3ch　左右フロントスピーカーとセンタースピーカー
4ch　左右フロントスピーカーと左右サラウンドスピーカー
5ch　左右フロントスピーカーとセンタースピーカー、サラウンドスピーカー（本機にUWA-7を増設した場合）

3 RCV SETUP ボタンを押す

サブウーファーを切り換える

UWA-7を増設しているとき、サブウーファーの出力を切ることができます。

1 RCV SETUP ボタンを押し、ENTER ボタンを（くり返し）押す

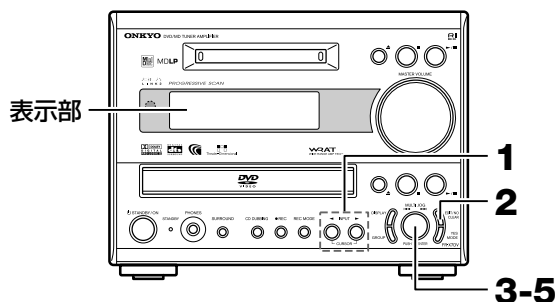
Subwoofr Off

2 ▲ / ▼ボタンを押して、「On」と「Off」を切り換える

On：
サブウーファーから重低音が出力されます

Off：
サブウーファーから重低音が出力されません。

3 RCV SETUP ボタンを押す

設定が終了します。

外部入力機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。 （☞22～26ページ）

1

INPUT◀/▶ ボタンを（くり返し）押して、名称を変える外部入力を選ぶ

TAPE、LINE、DIGITALから選べます。

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押して、「Name Select?」を表示する

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

4

MULTI JOG ダイヤルを回して名称を選ぶ

入力による名称選択

TAPE ⇔ CD-R ⇔ DAT ⇔ VIDEO
⇕ ⇕
PC-RI ⇔ PC ⇔ HD ⇔ MD2

LINE ⇔ TV ⇔ BS
⇕ ⇕
GAME ⇔ CS-PCM ⇔ CS

DIGITAL ⇔ TV/dig ⇔ PC/dig※1
⇕ ⇕
GAME/dig PC-RI/dig※2
⇕
CS-PCM/dig ⇕
⇕
CS/dig ⇔ BS/dig ⇔ CD-R/dig

PC-RI/dig

変更をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

※1 RI非対応、他社製品USB電源を接続したとき選択します。

※2 RI対応のオンキヨー製USB電源を接続したとき選択します。

5

MULTI JOG ダイヤルを押して決定する

Complete

「Complete」が表示されます。
MODE/YESボタンを押しても同じです。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
BS	BS
CD-R	CR
CS	CS
CS-PCM	CP
DAT	DT
DIGITAL	DG
LINE	LI
MD2	M2
PC	PC
PC-RI	PC
TAPE	TA
TV	TV
VIDEO	VI
HD（ハードディスク）	HD
GAME	GM

DVD、MDなどの予備知識（DVD編）

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■（ストップ）ボタンを押してください。

■ 再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOマークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク			
DVDビデオ		DVD-R	DVD-RW
DVD VIDEO	DVD VIDEO	DVD R	DVD RW
ビデオCD	CD	CD-R	CD-RW
COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2　ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

■ DVDの再生について

DVDでは、ディスク製作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。
ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面にディスクによる禁止マークが出ます。また、プレーヤーによって禁止されている操作をしたときは、画面にプレーヤーによる禁止マークが出ます。

■ 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

■ DVD-Rの再生について

本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード)で記録されたDVD-Rを再生することができます。ファイナライズしていないCD-Rを再生することはできません。
本機は再生専用機です。DVD-Rに録画することはできません。

■ DVD-RWの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-RWを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-RWを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット（ビデオモード）記録、およびDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録に付いてはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ CD-R/CD-RWの再生について

本機は音楽CDフォーマット、またはMP3などの音楽データやJPEGなどの写真データが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。「PBCは、Playback Controlの略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

■ DVD-RおよびDVD-RWのご注意

DVD-RおよびDVD-RWのMPEG音声は対応していませんので、パソコンでDVDを作成する場合は、PCMまたはドルビーデジタルで記録できるソフトウェアをお使いください。

■ MP3/WMA/JPEGの再生について

- ISO9660レベル2のCD-ROMファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。）
- 999フォルダ、672トラックまで認識·再生することができます。
- 画面表示時、フォルダ/トラックに3桁の番号がつきます。
- マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 本機に対応していないディスクを再生しようとすると「このフォーマットは再生できません」と表示されます。
- ディスクはファイナライズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）

■ MP3の再生について

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3（64-384kbps）のサンプリング周波数44.1/48ｋHzで記録されたファイルに対応しています。
- 64kbpsから384kbpsの可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

■ WMAの再生について

- WMAとは「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corparationによって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」または「.ASF」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- サンプリング周波数44.1/48kHzで記録されたファイルに対応しています。
- 16kbpsから192kbpsの可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- ディスクにWMAを記録するとき、WMAのコンテンツ保護を解除しておいてください。

DVD、MDなどの予備知識（DVD編）

■ JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。「.jpg」、「.JPG」または「.JPEG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
5メガバイト以下のJPEGファイルに対応しています。
- 輝度/色差の比率が4：4：4、4：2：2、4：1：1に対応しています。
プログレッシブJPEGには対応していません。

■ 本機で再生できないディスクの種類

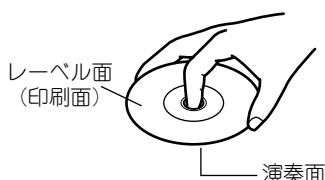
- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- スーパーオーディオCD、DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW
- フォトCD・CD-Gなど

ディスクの取り扱いについて

■ 異型ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

演奏面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■ 保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■ レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■ お手入れについて

汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■ コピー防止について

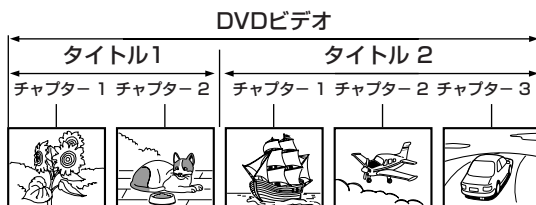
本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■ 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

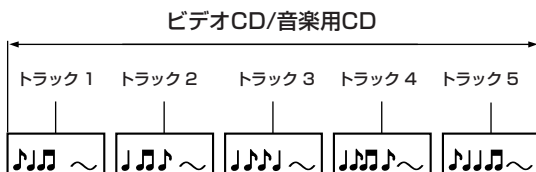
本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

■ DVDビデオ

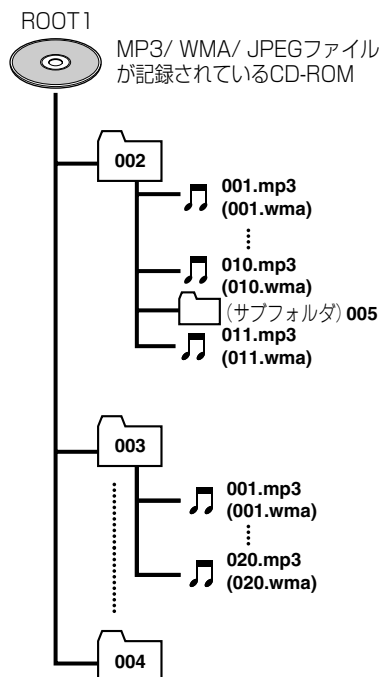
「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル　：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

■ ビデオCD/音楽用CD

「トラック」で区切られています。

トラック　：ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

■ WMA/MP3/JPGについて

WMA/MP3のフォルダ/トラックの名前や、JPEGのフォルダ/ファイルの名前が画面に表示されます。

DVD、MDなどの予備知識（MD編）

■ MDについて

MDには再生専用と、録音用の2種類があります。録音用MDで途中まで録音してあるMDに追加して録音する場合、最後の曲のあとに録音されます。曲番も最後の曲番のあとから順についていきます。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC（トック）＝Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））に書き込まれます。

● **TOC（トック）表示が点灯しているとき（録音中や名前をつけたときなど）**
MDのTOC（トック）に書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

● **TOC（トック）表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）**
MDに情報を書き込んでいる最中です。

この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は停電前の記録内容は消去されます。

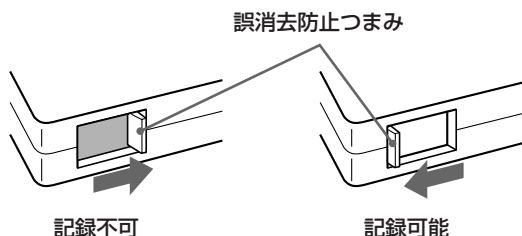
シリアルコピーマネージメントシステム
デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

■ MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

■ MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

●内部のディスクに直接触れないでください
ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

●置き場所について
直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所には置かないでください。

●長時間使用しないときは
ＭＤが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

●定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間（60分、74分、80分）に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**

MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。

- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。
- **MDへの録音のしかたによっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
- **曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**
- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**
- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」表示が長く表示されます。
- **MDには最大1792文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。
- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

MDLPについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「MDについて」、102ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、左項参照)。
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例：ア゛
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。故障の可能性がありますので、お近くのサービスステーションにお問い合わせください。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。（CD、MD）
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。 ディスクを交換してください。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
TOC Error	MDの読み取りや書き込みに失敗した。

取り扱いについて

お手入れについて
D-SX7Aの表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

カラーテレビやパソコンとの近接使用について
一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
D-SX7Aは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

D-SX7Aのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意
D-SX7Aは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
①FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
②発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④マイク使用時のハウリング
⑤テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥アンプが発振しているとき
⑦ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について
FR-X7DVには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。FR-X7DVの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

●文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示管にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。（83）
- タイマー演奏、録音は終了時刻にスタンバイになります。（86）
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。
  スピーカーコードの＋、－が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？スピーカーコードのしん線は本体の接続端子に接触していますか？（17）
- ボリュームが最小になっていませんか?
- “MUTING”と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。（29）
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。（29）

音が良くない

- 再生するソースがAM放送やTVなどでモノラル音源のときに、サラウンドをPL II MOVIEまたはPL II MUSICにすると、センタースピーカーに再生音が集中することがあります。モノラル音源でサラウンド効果を得るには、他のサラウンドモードでお楽しみください。
- 各スピーカーの距離設定、音量設定を行ってください。（95）

雑音が入る

- スピーカーコードの＋/－が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、
  右側のスピーカーはR端子に接続してください。（17）
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

映像に関して

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。

静止画の画像にブレがある

- 機能設定で画像を調整してください。（94）

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキやビデオ内蔵テレビ経由で接続した場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。（20）
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。また、ディスクによっては解像度が高いため画像ノイズが出る場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節してベストな状態にしてください。

映像がテレビ画面にあらわれない

- 本機を接続したテレビの入力設定が正しいか確認してください。
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。この場合、►ボタンを押して解除してください。もう一度押すと再生が始まります。CD再生時などで、テレビをつけていなくてもスクリーンセーバー機能は働きます。
- テレビのD1端子へ接続している場合は、「インターレース」に設定してください。（20）

画面が縦または横に伸びている

- 「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「基本設定」もしくは「画像設定」で設定してください。（28）

テレビ画面に縞のようなノイズが入る

- テレビのアンテナ線と本機の電源コードや接続コードを離してください。

テレビ映像の色がにじむ

- テレビからスピーカーを離してください。

DVD/ビデオCD/CD/MDに関して

ディスクが再生できない

- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。（98）
- リージョン番号を確認してください。（98）
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除またはレベル変更を行ってください。（94）
- 本機はNTSCに対応していますので、PALのビデオCDを再生すると画像が正しく再生されません。

再生が始まるまでに時間がかかる

- DVDや曲数の多いCDの場合読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲や場面をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲や場面であることを確認してください。また、DVDなどによってはメモリーを禁止しているディスクもあります。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないMDが入っていませんか、録音されているMDと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。（104）

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。（37～39、43～45）

希望する言語、字幕、音声が出力されない

- 設定した言語がディスクに記録されていない。

「ディスクによる禁止」マークがテレビ画面に出る

- 選択した動作をディスクが禁止しています。（98）

「プレーヤーによる禁止」マークがテレビ画面に出る

- 選択した動作を本機が禁止しています。（98）

MP3/WMA/JPEGに関して

MP3/WMA/JPEGファイルを記録したディスクを再生できない

- 記録したディスクがISO9660に準拠しているか確認してください。（99）
- ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

ディスクに記録されているトラック（ファイル）を選択できない

- 規格以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。（99）
- 本機では999のフォルダまたは673を超えるトラックを認識できません。（99）
- 本機はマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。（99）

DTS信号について

- 一部のCDまたはLDプレーヤーなど外部機器では、本機とデジタル接続をしても正しくDTS再生ができない場合があります。出力されているDTSデータに何らかの処理（出力レベル調整、サンプリング周波数変換、周波数特性変換など）が行われていると、本機が正しいDTSデータとみなすことができず、ノイズを発生することがあります。
- DTS対応ディスクを再生している時にポーズやスキップなどの操作をすると、ごく短時間ノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。

MDの録音/編集に関して

MDの録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報はMDを取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される（103）

- 再生用のMDです。録音用と交換してください。
- DVDの音源をデジタル信号のまま録音することはできません。

「Protected」と表示される（103）

- MDが記録不可状態になっています、解除してください。（102）

「Disc Full」と表示される（103）
● MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。
「Retry Error」と表示された。（103）
● いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。

MD1グループダビングができない

● 複数の曲をひとまとまりにするため、トラック指定CDダビングと組み合わせることはできません。

デジタル機器から外部録音しようとしたら「D.In Unlock」と表示される

● オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。

録音レベルが小さい/音が歪む

● 録音レベルを調整してください。（63）

「CDダビング」ができない

「CD Dub Fail」と表示される。（103）
● MDのメカが動いています。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください
● CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。
● DVDなど、デジタル録音できないディスクを録音しようとした。

「シンクロ録音」ができない

● 表示部に「MD　Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

名前がつけられない

● MDは録音用を使用し録音不可状態は解除してください。（102）
● メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。

MDの編集ができない

● MDは録音用を使用し録音不可状態は解除してください。
● メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。
● デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（73）
● また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（ LP2とLP4など）（73）

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い
オートプリセットで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“FM ST”表示が完全に点灯しない

● 入力を切り換えたとき、放送が聞こえるまで約20秒かかることがあります。
● アンテナの接続をもう一度確認してください。（18）
● アンテナの位置を変えてみてください。（49）
● テレビやコンピューターから離してください。
● 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
● 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
● FMモードをモノラルに変更してみてください。（50）
● AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
● それでも電波が悪い時は市販の室外アンテナをお薦めします。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

● メモリーは通常3日間は保持されます。万一プリセットチャンネルが消えてしまった場合はプリセットを再度行ってください。
● 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

● 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（9）
● 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。(種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください)
● リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
● リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
● 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
● オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

困ったときは

外部機器との接続に関して

録音ができない

● デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する必要があります。
● 接続が正しいか確認してください。（22〜26）

オンキヨー製外部機器とのシステム接続が働かない

● RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（22〜26）
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
● 外部入力機器の表示名称を設定してください。（97）

「D IN Unlock」が表示された/DIGITAL表示が点滅している

● 光デジタルケーブルの接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。また、96kHzのPCM信号が入力された場合は、デジタル録音できません。

接続した機器の音が出ない

● 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
● フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは、別売のフォノイコライザーを中継してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

● レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

● MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

タイマー演奏・録音に関して

タイマー演奏･録音しない

● 現在時刻/日付は正しく設定されていますか？
時刻が設定されていないと、タイマー演奏、録音はできません。現在時刻/日付を設定してください。（81）
● 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（86）
● タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。（82）
● タイマーが動作しているときにSleep設定をしたりTIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
● タイマー演奏はスタンバイ状態にした時の音量が反映されます。スタンバイにする前に適当な音量に調節しておいてください。（86）
● オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
● 再生機器/録音機器の設定を確認してください。（CDレコーダーにタイマー録音はできません。）
● タイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。
● タイマーにオンキヨー製外部機器を選択した場合、表示名称を設定する必要があります。

表示に関して

外部機器でPCM以外の信号を再生しているときは、レベルメーターが正しく表示されないことがあります。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

● スタンバイ時の時刻表示「あり」に設定してください。（81）

設定に関して

設定内容が消える

● 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。

設定が変更できない

● 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。
● リスニングアングルの設定は、サラウンドモードがシアターディメンショナル時のみ変更できます。（53）

音声がモノラル出力になっている

● ビデオCDを記録したディスクを再生時、リモコンのAUDIOボタンを押してモノラルL、モノラルRに設定した場合は、モノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、再度リモコンのAUDIOボタンを押し、ステレオに設定してください。（33）
※映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。

スピーカーの距離設定が希望通りにならない

● UWA-7と組み合わせているとき設定する数値がホームシアターに適した数値に矯正されることがあります。（95）

Cannot Selと表示される

● スピーカーの数や入力される信号によって選べないサラウンドモードがあります。（52）

FR-SX7DV(98-112)(SN29343536B) 108 03.10.31, 9:28 AM

UWA-7との組み合わせに関して

音が出ない/連動しない

- 正しく接続はされていますか？UWA-7PAW専用接続コードを正しく接続してください。また、UWA-7PAWとUWA-7STの接続を正しく行ってください。
  SUBWOOFER CONTROL端子が正しく接続されないと、UWA-7PAWの電源が入りません。

センタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ない

- サラウンドモードの種類によって音を出さないモードがあります。
  Stereo：フロントスピーカーとサブウーファーのみから音が出ます。センタースピーカー、サラウンドスピーカーからは音がでません。
  Orchestra：センタースピーカーからは音が出ません。
- ドルビープロロジックIIのサラウンドモードで再生するソースにより、音が出にくい場合があります。5.1ch対応のDVDソフトやBSデジタル放送の5.1ch放送は、臨場感を表現する信号が含まれていることが多いのですが、CDや一般の放送には含まれていないのが一般的です。他のサラウンドモードをお選びください。

ヘッドホンを接続すると、T−Dインジケーターが消える

- ヘッドホンを接続すると、サラウンドモードはステレオになり、UWA-7PAWの電源は切れます。（29）

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

■ DVDに関する設定を初期設定（お買い上げ時の状態）に戻すには

1. **ディスクを取り出し、表示部に「No Disc（ノー ディスク）」と表示させる**
2. **DVD部の■（ストップ）ボタンを10秒以上押し続ける**
   「Initialize（イニシャライズ）」と約7秒間表示されたあと、「Complete（コンプリート）」と表示されます。
3. **表示部が真っ暗になってから、STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押してスタンバイ状態にする**
   DVDに関する設定が初期設定（お買い上げ時の状態 ）になります。

主な仕様

一般仕様

電源・電圧　：AC100V・50/60Hz
消費電力　：65W

最大外形寸法：205(幅)×154(高さ)×351(奥行き) mm
質量　：5.7kg
映像出力端子：D2/D1端子 1、S端子 1、ビデオ端子 1
音声入力端子：アナログ端子 2（LINE/TV、TAPE/CDR）
光デジタル端子 1
音声出力端子：アナログ端子 1（TAPE/CDR）
3.1chアナログ端子1（サラウンドL/R、センター、サブウーファー）
光デジタル端子 1
ヘッドホン端子 1
スピーカー端子 2

アンプ部

定格出力　：17W＋17W（4Ω）
15W＋15W（5Ω）
13W+13W
(8Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下、2ch駆動時)
14W+14W
(6Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下、2ch駆動時)
実用最大出力：25W＋25W（4Ω、EIAJ）
22W＋22W（5Ω、EIAJ）
21W＋21W（6Ω、EIAJ）
全高調波歪率：0.4%（1kHz定格出力時）
ダンピングファクター：70（8Ω）
入力感度/インピーダンス：150mV/50kΩ（LINE/TV、TAPE/CDR）
出力電圧/インピーダンス：1.4V/1kΩ（REC OUT）
周波数特性　：10Hz～100kHz/±3dB（LINE/TV）
S.Bass　1　：+6dB、80Hz
2　：+8dB、80Hz
SN比　：105dB（LINE/TV、IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス：4Ω～16Ω

DVDプレーヤー部

読み取り方式：非接触光学式読み取り
＜音声出力＞
周波数特性　：4Hz～22kHz(48kHz/EIAJ)
ワウ・フラッター：測定限界以下
＜映像出力＞
信号形式　：NTSC/PAL
出力電圧/インピーダンス：ビデオ出力 1.0Vp-p/75Ω（コンポジット）
Ｓビデオ出力 1.0Vp-p/75Ω（Y）、0.286Vp-p/75Ω（C）
D2/D1ビデオ出力 1.0Vp-p/75Ω（Y）、0.7Vp-p/75Ω（Pb/Pr）
再生可能ディスク：DVD、ビデオCD、CD、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
※ファイナライズや記録されているデータの状態によっては再生できない場合があります。

MDレコーダー部

読み取り方式：非接触光学式読み取り
記録方式　：磁界変調オーバーライト方式
録音時間　：最大320分（LP4,80分ディスク使用時）
周波数特性　：10Hz～20kHz（±3dB）
ワウ・フラッター：測定限界以下

FM/AMチューナー部

受信範囲　：FM　76.00MHz～108.00MHz
AM　522kHz～1629kHz
周波数特性　：30Hz～15ｋHz（±1.5dB）
感度(FM)　：18.8dBf (2.4μV、75、SN 50dB)
SN比(FM)　：70dB (MONO)、67dB (STEREO)
ステレオセパレーション(FM)：40dB (1kHz)

リモコン

方式　：赤外線
信号到達距離：約5m
使用電池　：単3形（1.5V）乾電池2個

スピーカー部（D-SX7A）

形式　：2ウェイ　バスレフ型
定格インピーダンス：5Ω
最大入力　：70W
定格感度レベル：85ｄB/W/m
定格周波数範囲：50Hz～35kHz
クロスオーバー周波数：7kHz
キャビネット内容積：6.8ℓ
使用スピーカー：ウーファー　12cm　コーン型
ツィーター　2.5cm　ドーム型
最大外形寸法：158(幅)×267(高さ)×248(奥行き)mm
(サランネット、突起部含む)
質量　：各3.6kg

※
仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

▶お 名 前

▶お 電 話 番 号

▶ご 住 所

▶製品名　FR-SX7DV　または　FR-X7DV

▶で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 072(831)8080

http://www.onkyo.com/jp/

SN 29343536B

G0310-3